

三次市公共施設に関する市民アンケート調査結果報告書

三次市公共施設等総合管理計画の策定にあたり、計画の方向性を検討する上で、公共施設の利用状況や利用者の意向を把握するとともに、公共施設に対する意識啓発を図るため、市民アンケート調査を実施いたしました。調査の集計結果は以下の通りです。

1. 調査の実施概要と回答者の属性

(1) 実施概要

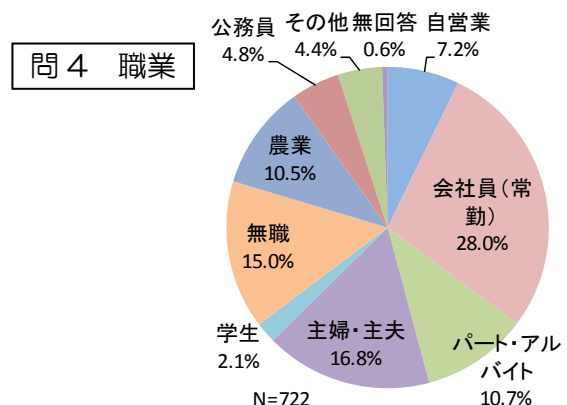
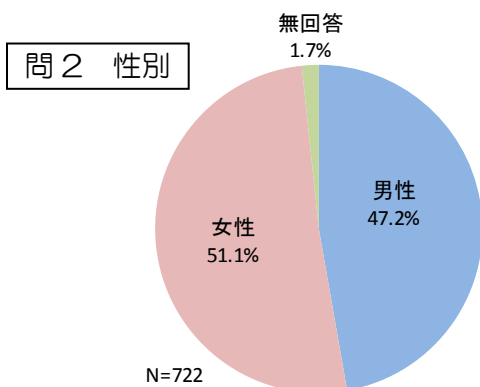
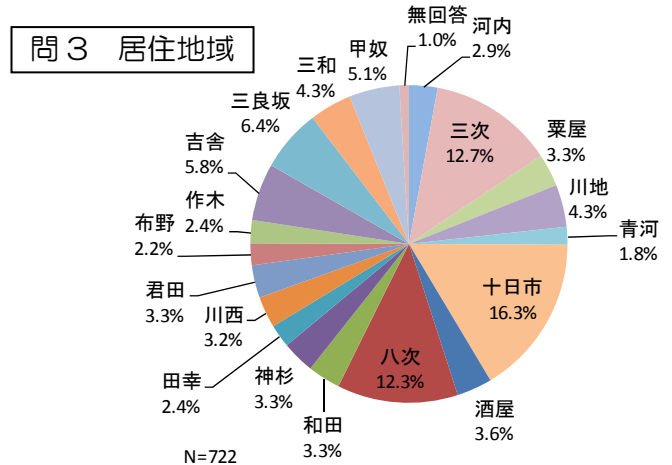
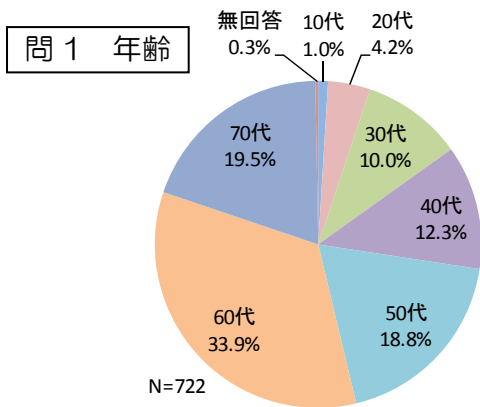
調査の実施概要を以下に示します。

- 調査対象者：三次市に居住する満 18 歳以上の方のうち、無作為に抽出した 2,000 人を対象
- 調査期間：平成 27 年 7 月 16 日（木）～平成 27 年 7 月 31 日（金）
- 調査方法：調査票を郵送配布・返信用封筒にて返送回収
- 調査対象数：2,000 票
- 有効回答数：722 票（回収票に一部でも記入あるものすべてを有効）
有効回収率は 36.1%

(2) 回答者の属性

回答者の年齢は、「60代」が 33.9%と最も多く、次いで「70代（19.5%）」となっています。これらで全体の半数以上を占めることから、やや高齢者の意見に偏る可能性があります。

性別については若干女性が多く、居住地域については、人口が多く公共施設が比較的集積している「十日市（16.3%）」、「三次（12.7%）」、「八次（12.3%）」の3地域で多くなっています。また、職業については、「会社員（常勤）」が 28.0%と最も多く、次いで「主婦・主夫」の 16.8%となっています。



2. 調査結果

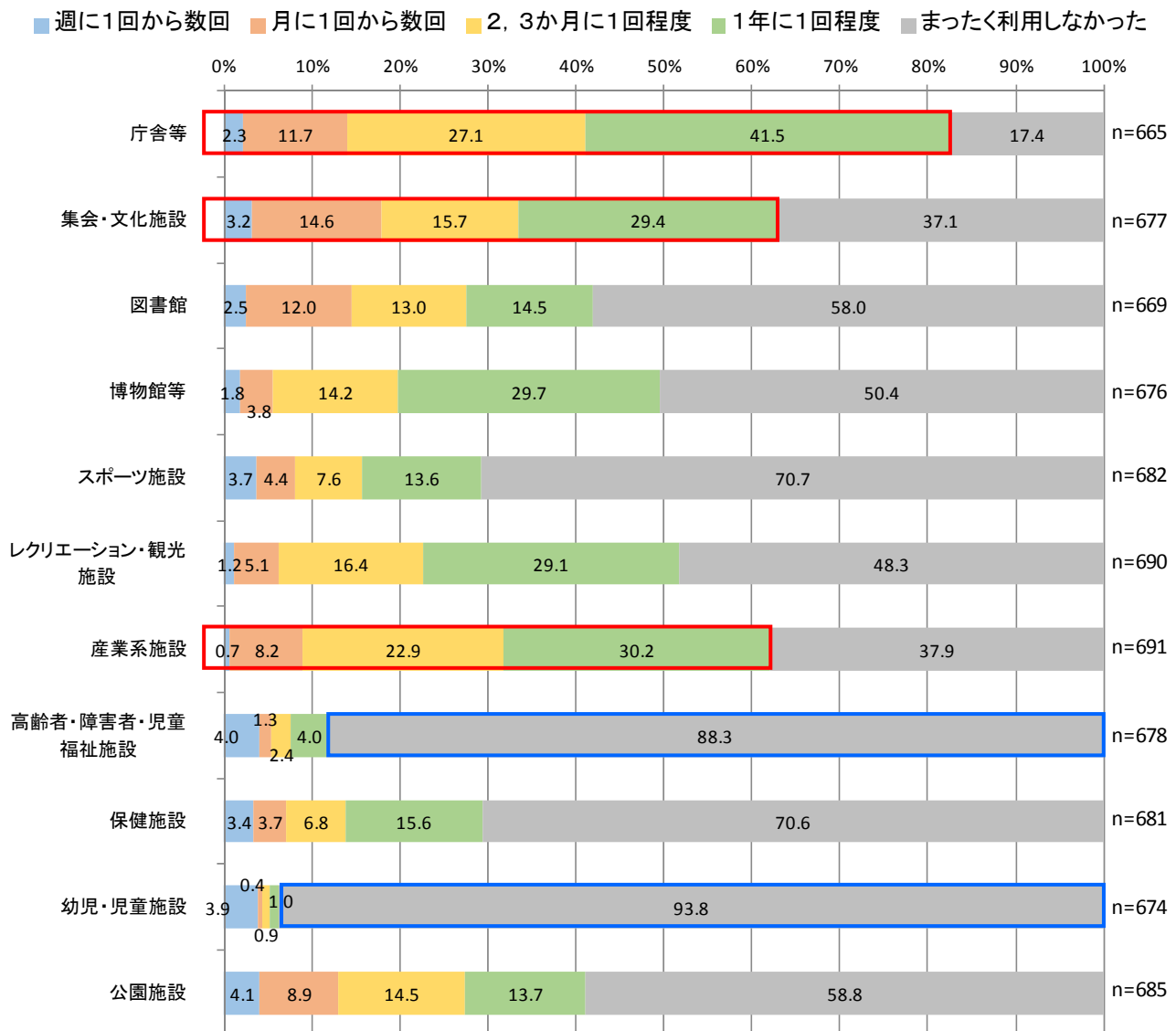
(1) 公共施設の利用頻度について

問5-【ア. 利用回数について】 本市が設置した公共施設には、次のようなものがあります。あなたは、過去1年間にこれらの施設をどの程度利用しましたか。利用回数が近いもの一つに○をつけてください。

公共施設の利用回数について、過去1年間で1回以上利用した人は「庁舎等（82.6%）」が最も多く、次いで「集会・文化施設（62.9%）」「産業系施設（62.0%）」の順となっています。

また、月に1回以上利用した人は、「集会・文化施設（17.8%）」が最も多く、次いで「図書館（14.5%）」の順となっています。

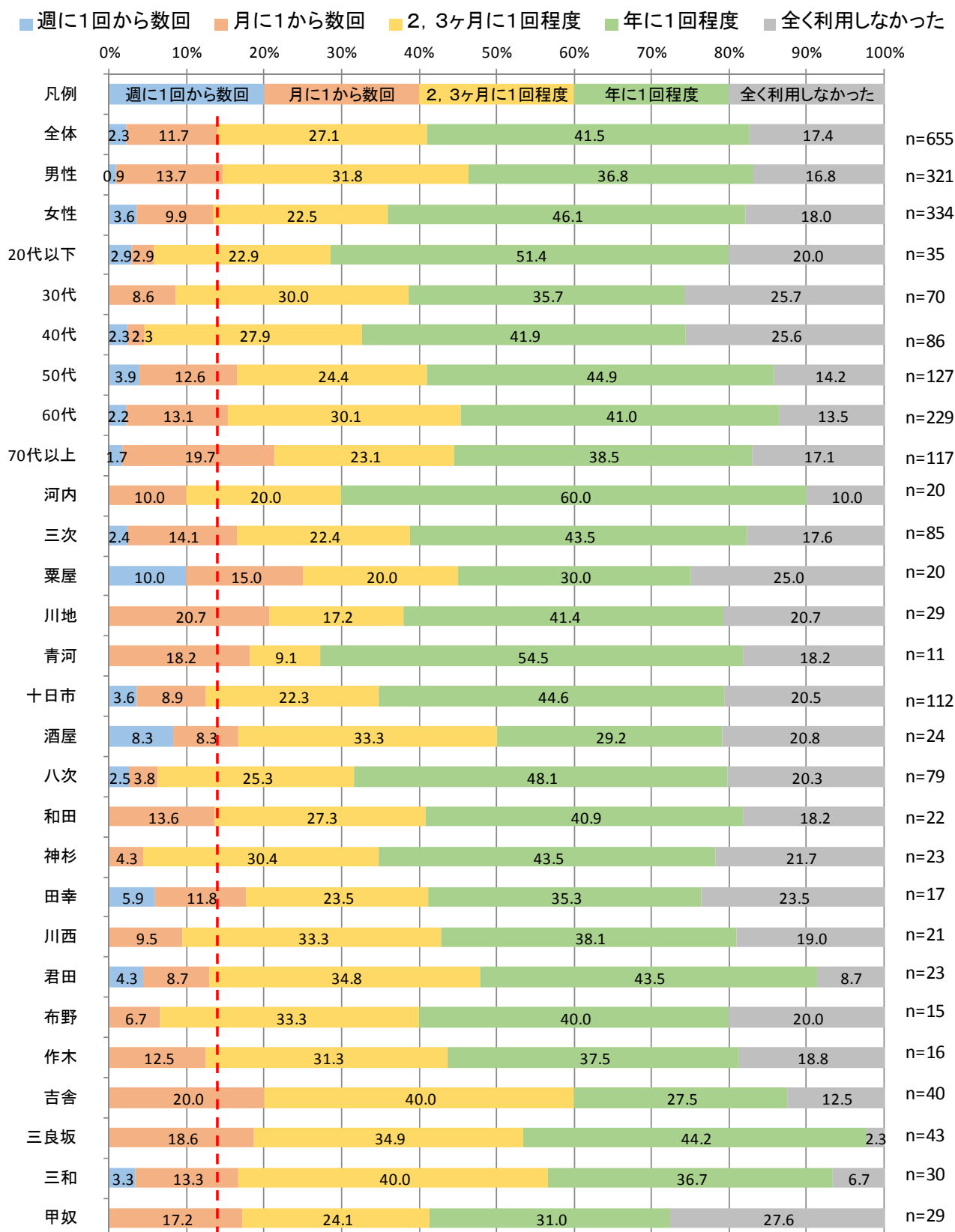
一方、「まったく利用しなかった」の回答が最も多かった施設は「幼児・児童施設（93.8%）」で、次いで「高齢者・障害者・児童福祉施設（88.3%）」となっており、これらは8割を超えています。



施設 例	● 庁舎等（三次市庁舎・各支所）	● 集会・文化施設（三次市民ホール、みわ文化センター、各コミュニティセンター等）
	● 図書館（市立図書館）	● 博物館等（美術館、歴史民俗資料館、生涯学習センター等）
	● スポーツ施設（体育館、吉舎 B&G 海洋センター、陸上競技場等）	
	● レクリエーション・観光施設（江の川カヌー公園さくぎ、君田温泉森の泉、吉舎とみしの里等）	
	● 産業系施設（道の駅ゆめランド布野、物産館みわ375、みらさか竹工房、職業訓練センター、堆肥センター等）	
	● 高齢者・障害者・児童福祉施設（グループホーム・小規模多機能施設、福祉センター等）	
● 保健施設（福祉保健センター、各保健センター等）	● 幼児・児童施設（児童館、各放課後児童クラブ）	
● 公園施設（地区公園、近隣公園、みよしあそびの王国等）		

●庁舎等（施設例：三次市庁舎・各支所）

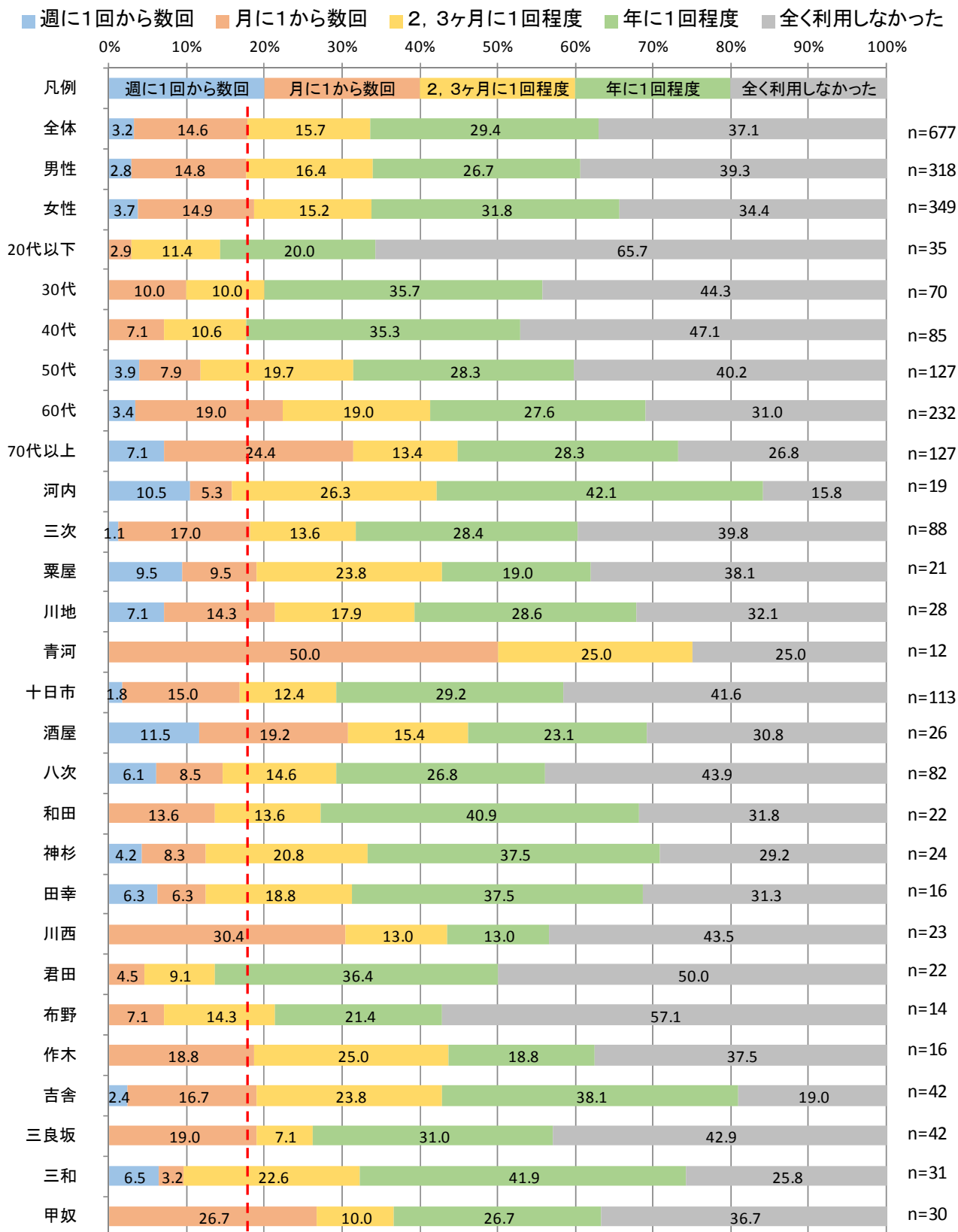
庁舎等の利用回数について、月に1回以上利用した人は、男性が女性より僅かに多く、年齢別では若年層より50歳以上の高齢層の利用が多い傾向が見られます。また、地域別では、比較的人口の少ない粟屋・川地地域や周辺部の吉舎地域で比較的多く、2割を超えています。



※赤の線は、各施設において、月に1回以上利用した人の単純集計の割合を参考のため示しています。

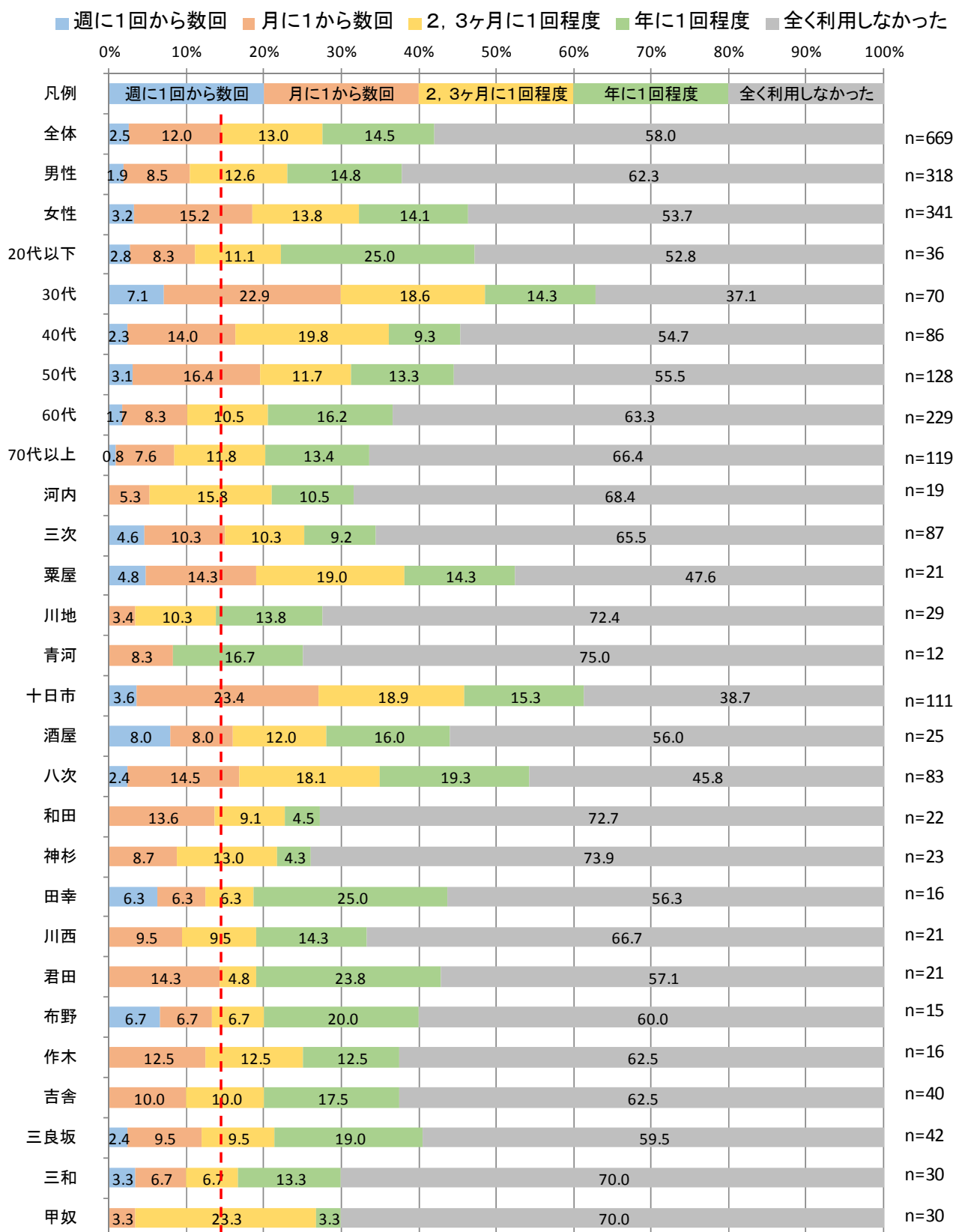
●集会・文化施設（施設例：三次市民ホール、みわ文化センター、各コミュニティセンター等）

集会・文化施設の利用回数について、月に1回以上利用した人は、女性が男性より僅かに多く、年齢別では70代が3割を超え、年齢が高くなるほど多くなる傾向が見られます。地域別では、標本数の少ない青河地域を除き、中心部に近い酒屋地域や農村部の川西地域で3割を超えています。



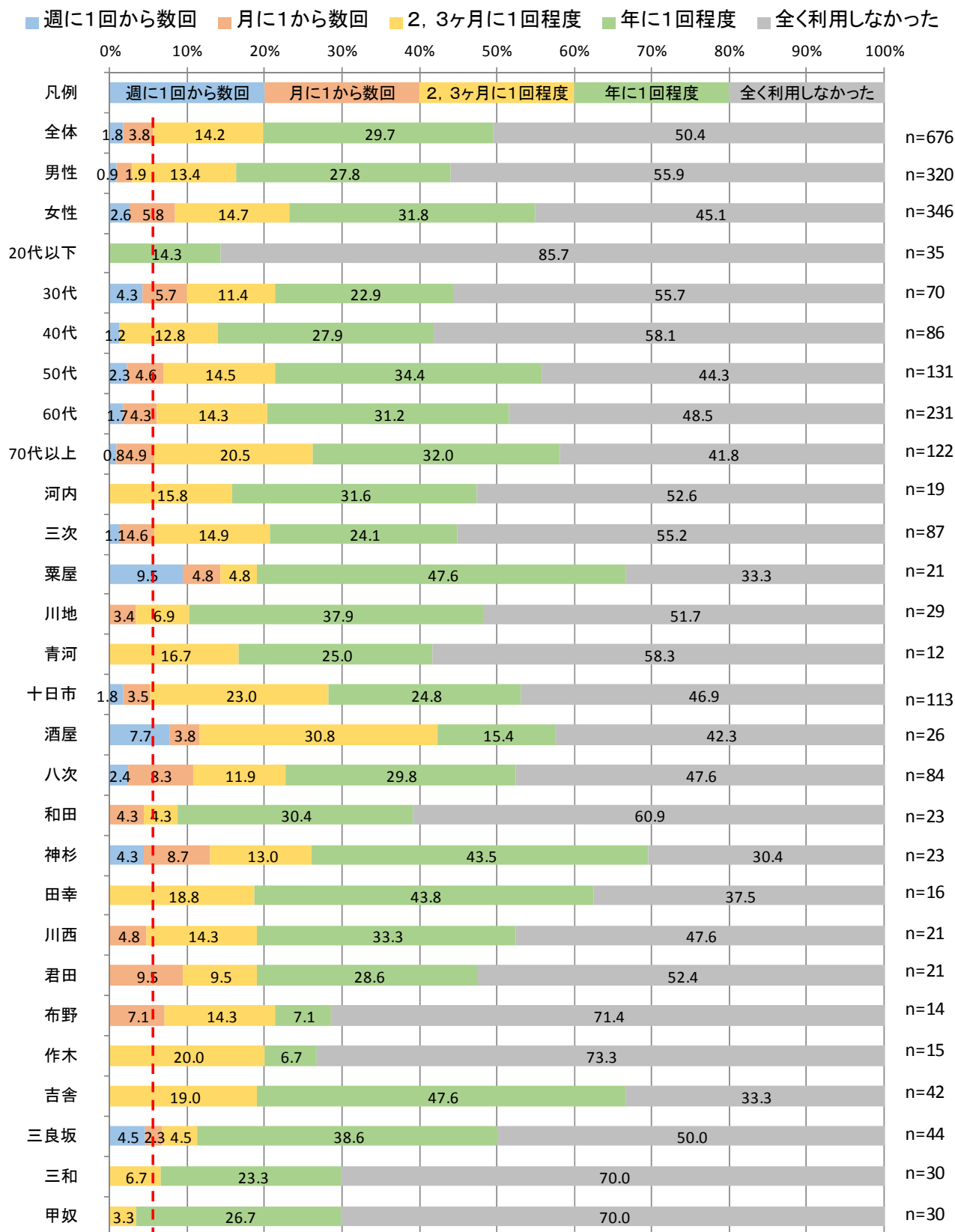
●図書館（施設例：市立図書館）

図書館の利用回数について、男性より女性の方が多く、年齢別では30代の回答者の3割が月に1回以上利用したと答え、60歳以上の高齢者は少ない結果となっています。地域別では、主要な公共施設が集積し、市立図書館の立地する十日市地域が27.0%と最も多くなっています。



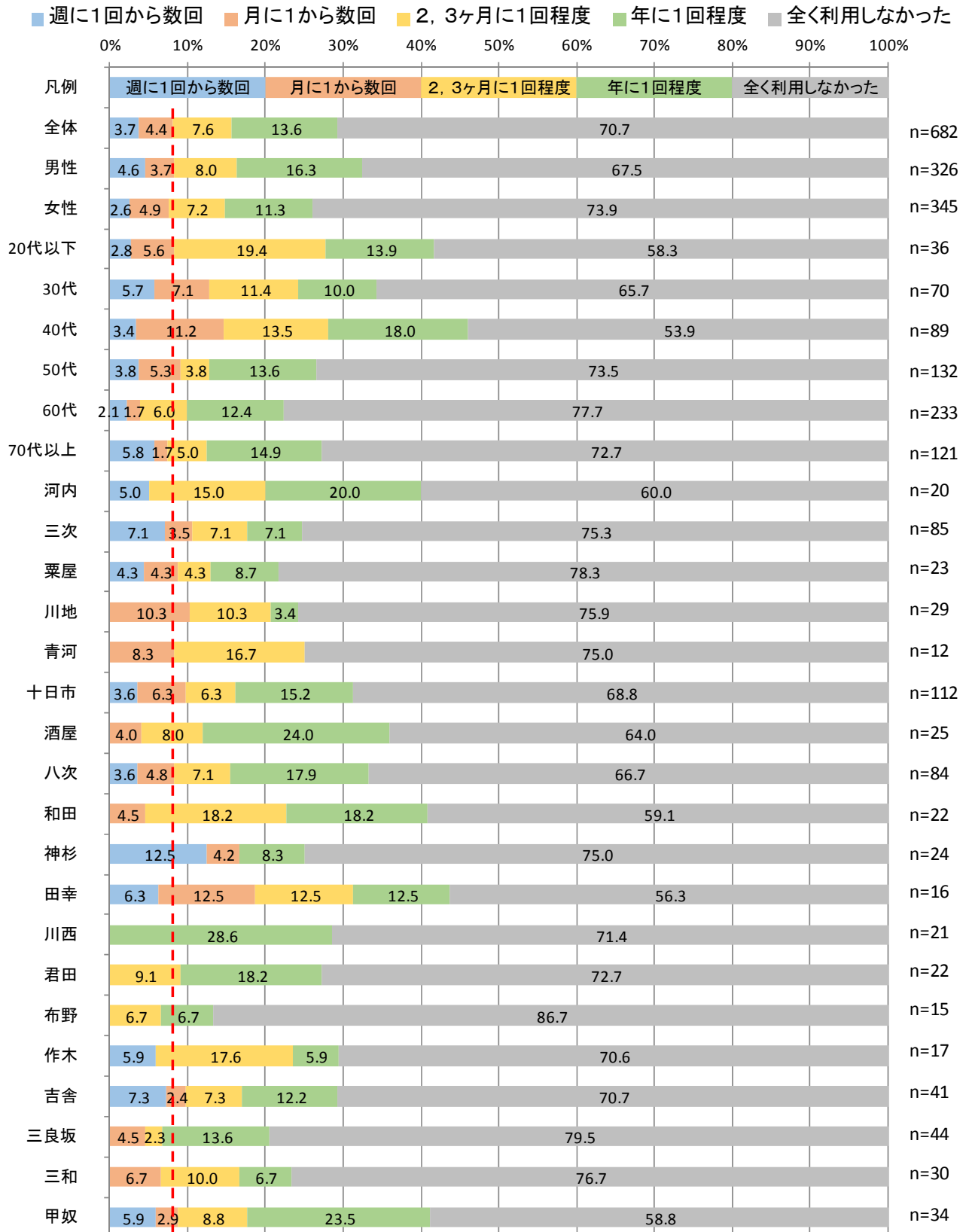
● 博物館等（施設例：美術館，歴史民俗資料館，生涯学習センター等）

博物館等の利用回数について，女性が男性に比べ多く，年齢別では月に1回以上利用したと答えた人は30代が多く，一方で20代はまったく利用しなかった人が85%を超えており，利用頻度は低い結果となっています。地域別では，粟屋，神杉地域の順に利用頻度が高く，粟屋地域の9.5%の回答者が毎週利用すると答えています。



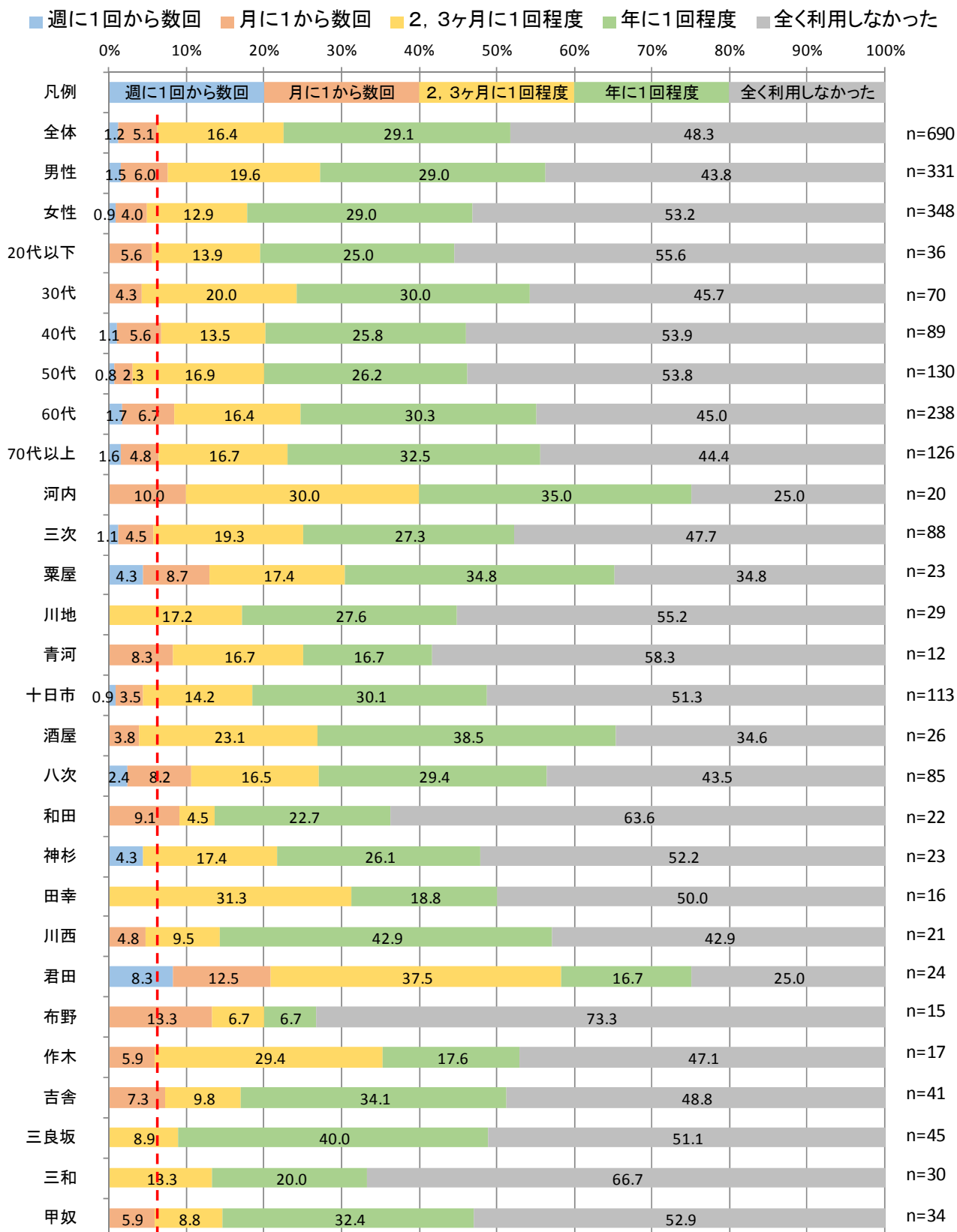
●スポーツ施設（施設例：体育館，吉舎 B&G 海洋センター，陸上競技場 等）

スポーツ施設の利用回数について，月に1回以上利用した人は，女性が男性より僅かに多く，年齢別では40代が最も多く，比較的若年層の利用が多い傾向にあります。地域別では，中心部周辺の田幸・神杉地域の利用頻度が比較的高く，一方布野地域ではまったく利用しなかったと答えた人が8割を超えています。



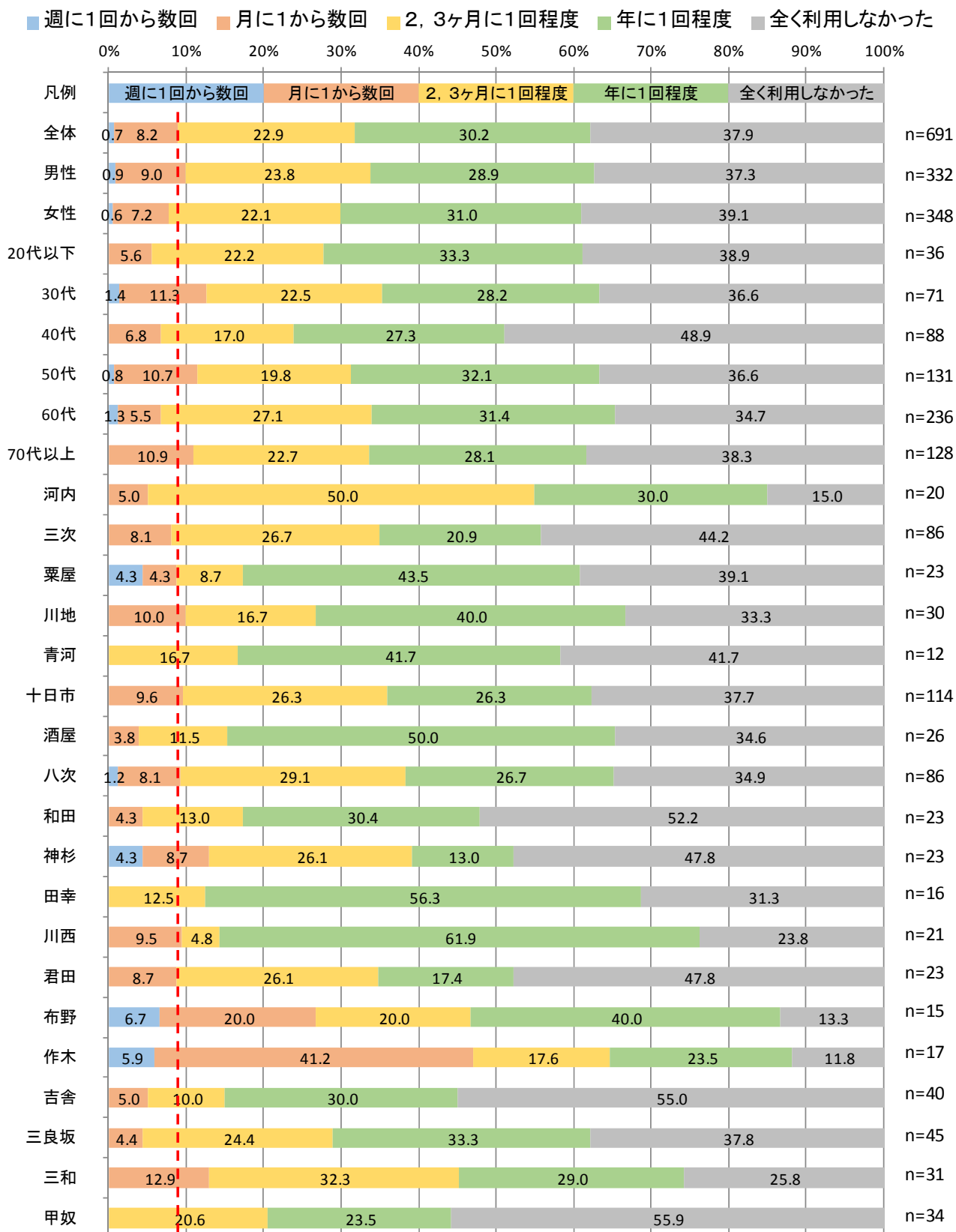
●レクリエーション・観光施設（施設例：江の川カーン公園さくぎ，君田温泉森の泉，吉舎とみしの里 等）

レクリエーション・観光施設の利用回数について，月に1回以上利用した人は，男性が女性より僅かに多く，年齢別ではばらつきがある中で60代が最も利用頻度が高い結果となっています。地域別では，君田地域で月に1回以上利用した人が2割を超えています。



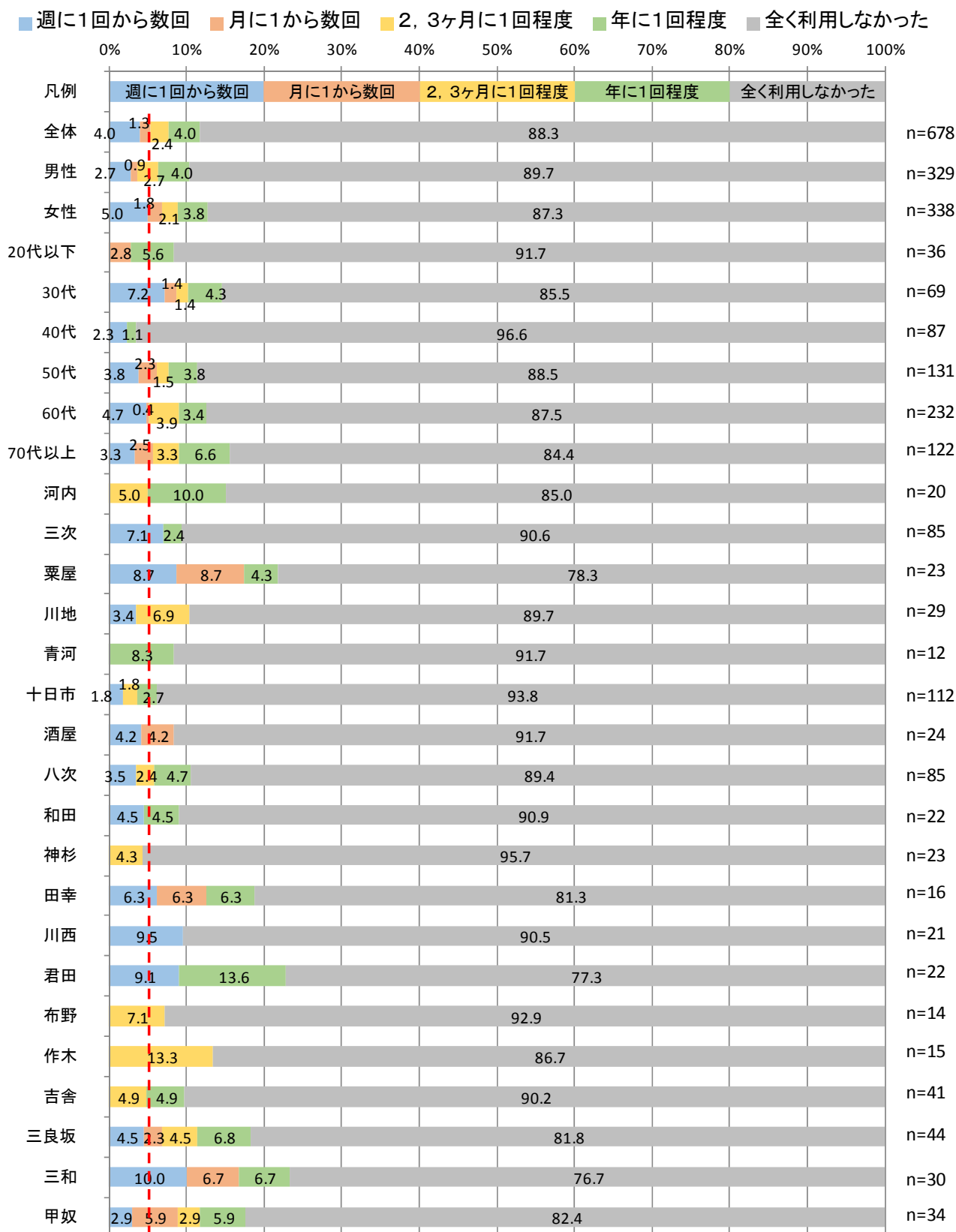
●産業系施設（施設例：道の駅ゆめランド布野，物産館みわ375，みらさか竹工房，職業訓練センター，堆肥センター等）

産業系施設の利用回数について、月に1回以上利用した人は、男性が女性より多く、年齢別では30代が12.7%と最も多いものの、年齢ごとにばらつきが見られます。地域別では、中山間農村地域の作木・布野の両地域で利用頻度が高い結果となっています。



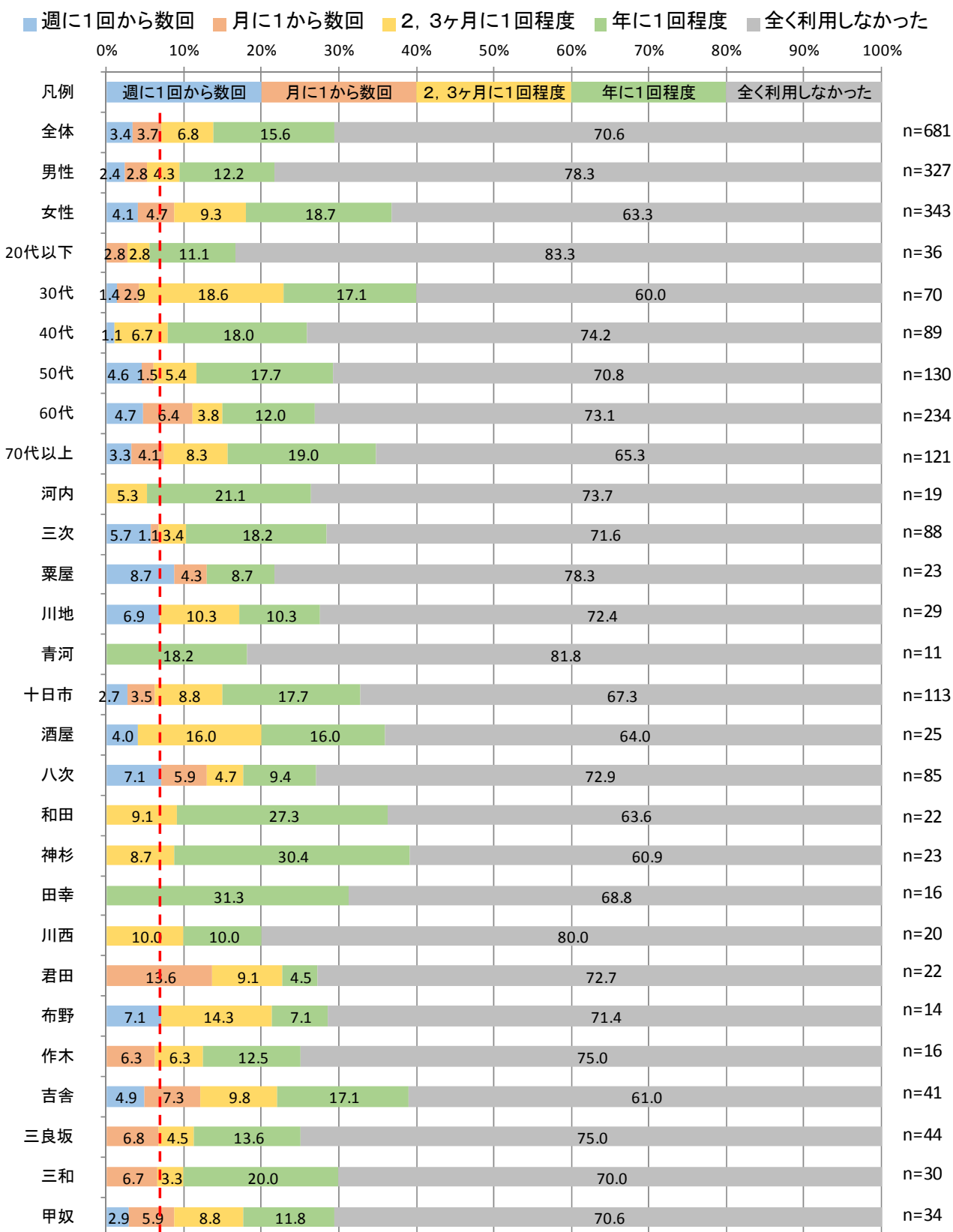
●高齢者・障害者・児童福祉施設（施設例：グループホーム・小規模多機能施設，福祉センター等）

高齢者・障害者・児童福祉施設の利用回数について、9割近くの人がまったく利用しなかったと答えており、全体的に少ない結果となっています。その中で、月に1回以上利用した人の利用頻度は、女性が男性よりも多く、年齢別では30代が多くなっています。また、地域別では粟屋・三和の両地域で月に1回以上の利用者が比較的多くなっています。



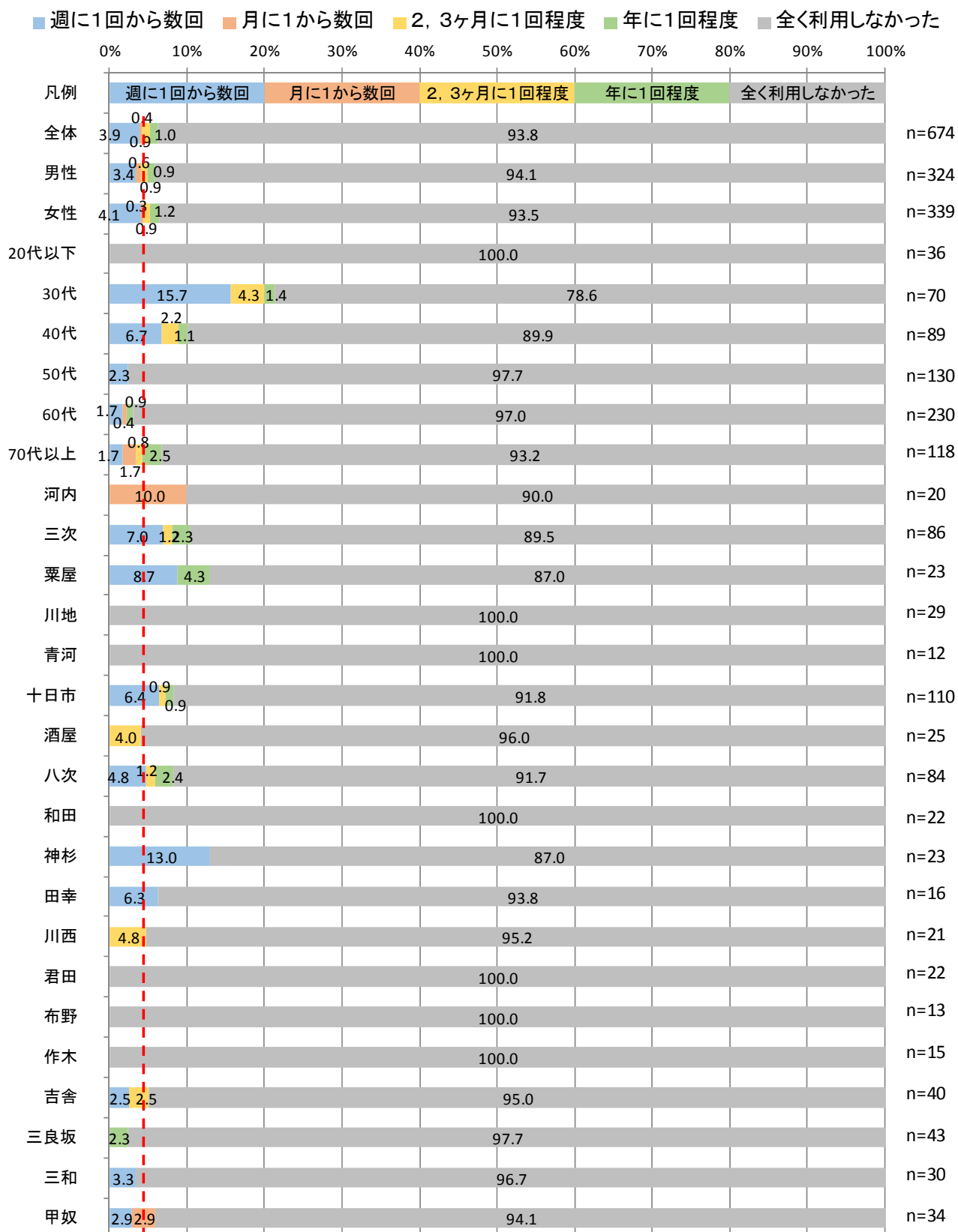
●保健施設（施設例：福祉保健センター、各保健センター等）

保健施設の利用回数について、月に1回以上利用した人は、女性の方が多く、年齢別では60代が最も多く、次いで70代となっています。地域別では、君田・八次・粟屋の各地域で利用頻度が高くなっています。



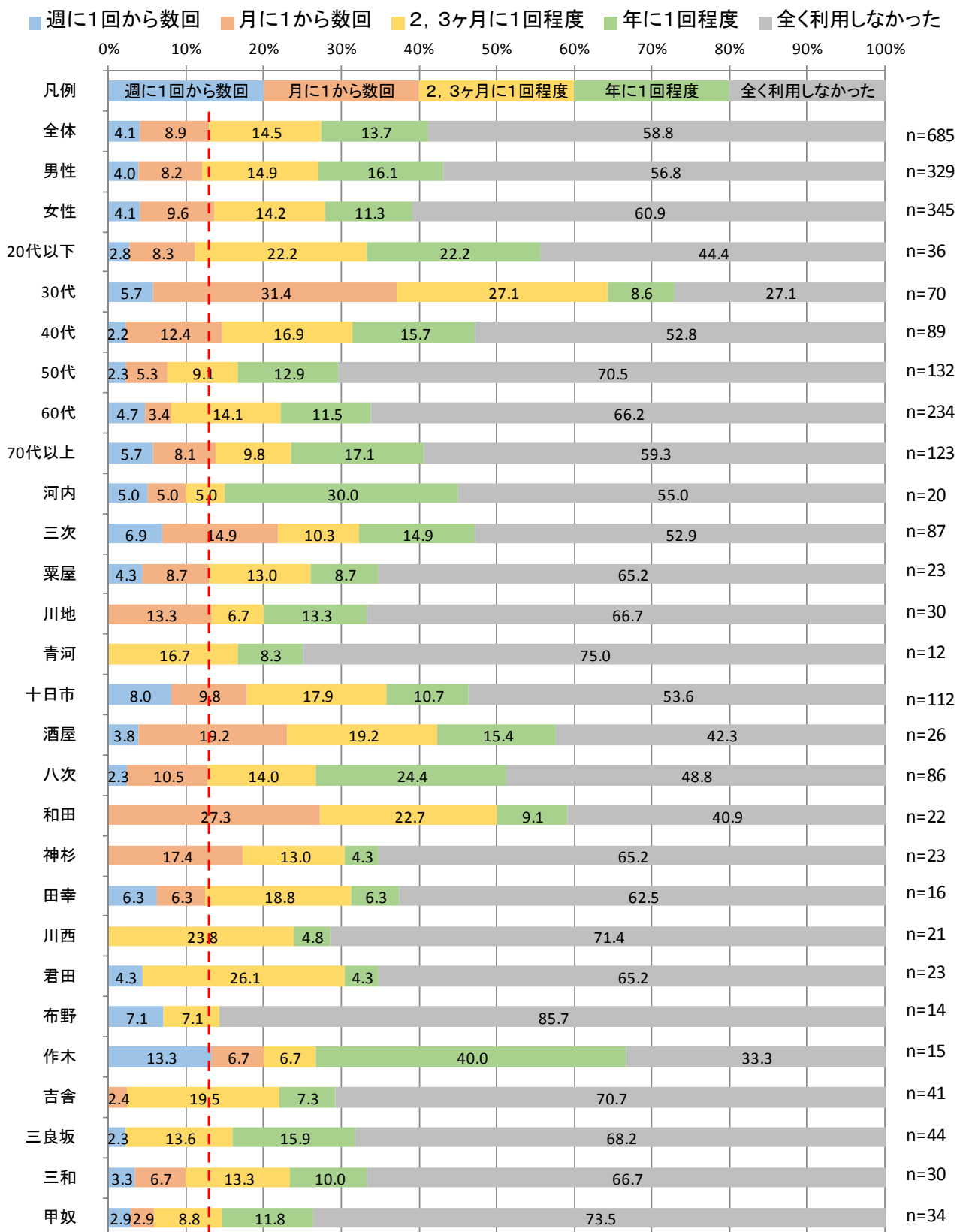
● 幼児・児童施設（施設例：児童館、各放課後児童クラブ）

幼児・児童施設の利用回数について、月に1回以上利用した人は、女性の方がやや多く、年齢別では子育て世代の30代が最も多く、15.7%の人が週に1回以上利用していると答えています。地域別では、神杉地域と河内地域で利用頻度が高く、月に1回以上利用した人は1割を超えています。



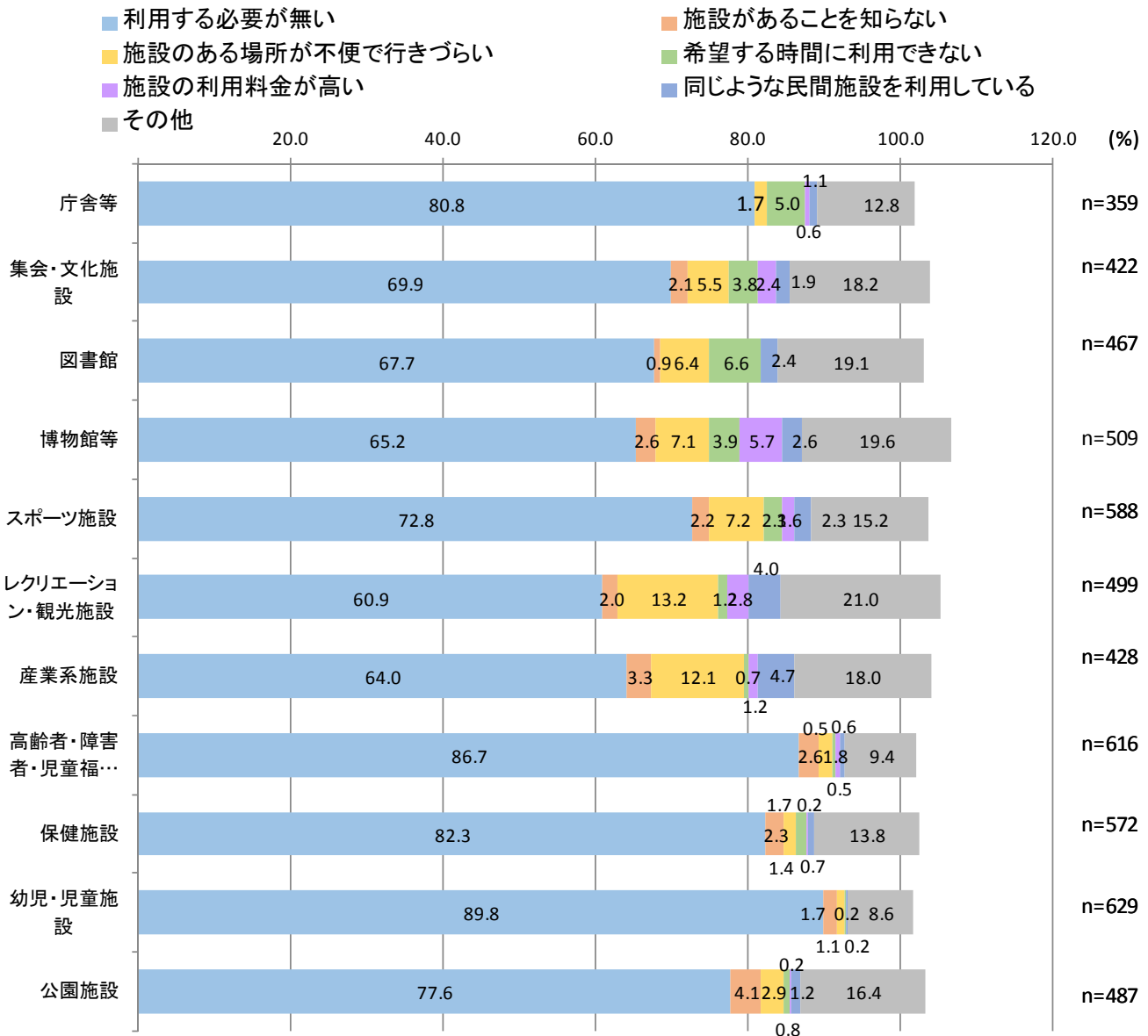
●公園施設（施設例：地区公園，近隣公園，みよしあそびの王国 等）

公園施設の利用回数について，月に1回以上利用した人は，女性の方がやや多く，年齢別では子育て世代の30代が37.1%と最も多く，次いで40代の14.6%，70代の13.8%と続いています。地域別では和田地域が27.3%と最も多く，次いで酒屋地域の23.0%となっています。



問5-【イ. 利用が少ない理由について】 「1年に1回程度」または「まったく利用しなかった」とお答えになった方は、どのような理由で利用が少なかったのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

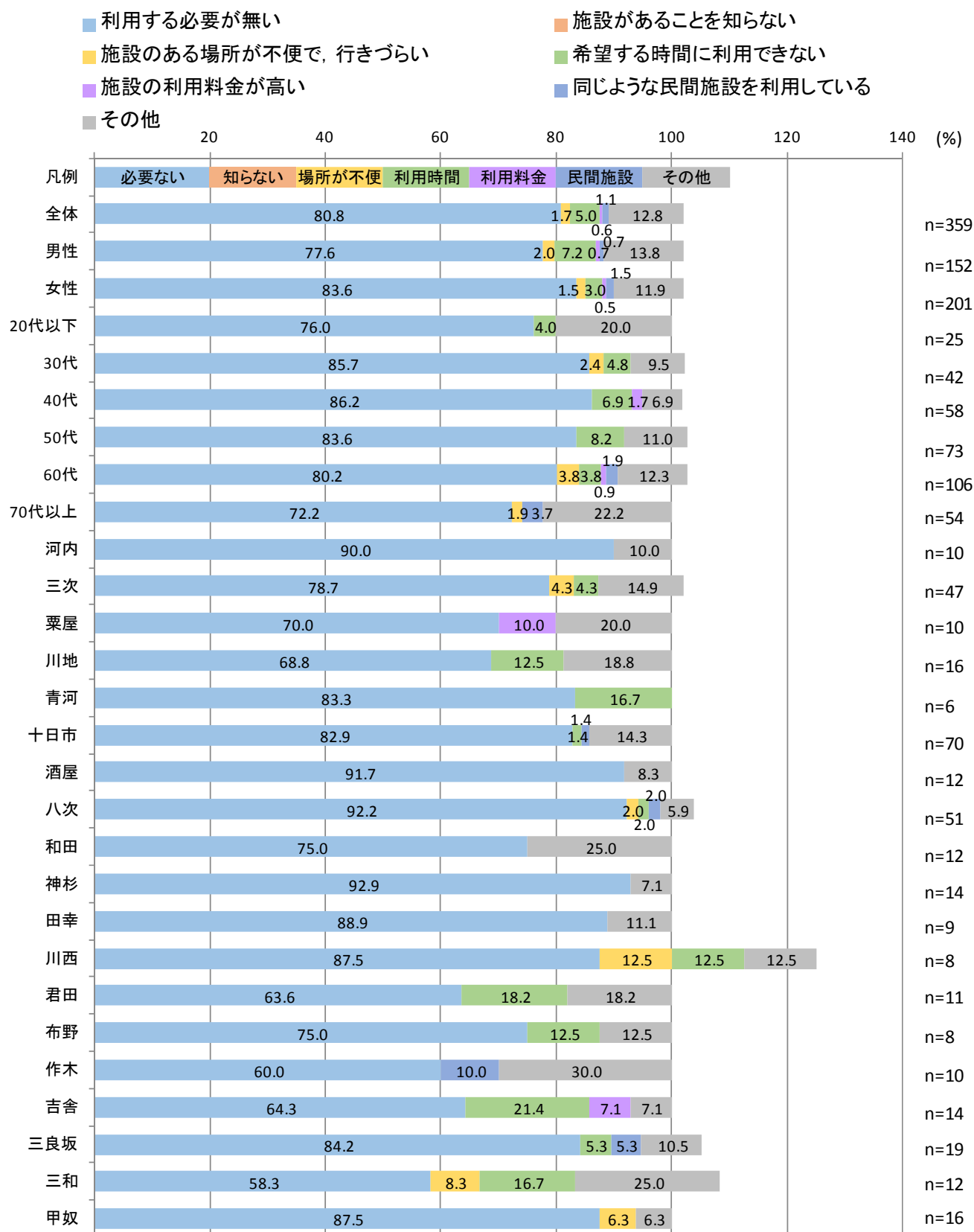
公共施設の利用回数が少ない理由について、全体としては「利用する必要がない」の割合が各施設で最も高い結果となっています。特に幼児・児童施設や高齢者・障害者・児童福祉施設は回答数の8割を大きく超えています。また、「施設のある場所が不便で、行きづらい」の回答は、レクリエーション・観光施設や産業系施設で1割を超え、「希望する時間に利用できない」の回答は、図書館や庁舎で他の施設に比べて高くなっています。



- 施設例
- 庁舎等（三次市庁舎・各支所） ●集会・文化施設（三次市民ホール、みわ文化センター、各コミュニティセンター等）
 - 図書館（市立図書館） ●博物館等（美術館、歴史民俗資料館、生涯学習センター等）
 - スポーツ施設（体育館、吉舎 B&G 海洋センター、陸上競技場等）
 - レクリエーション・観光施設（江の川カヌー公園さくぎ、君田温泉森の泉、吉舎とみしの里等）
 - 産業系施設（道の駅ゆめランド布野、物産館みわ 375、みらさか竹工房、職業訓練センター、堆肥センター等）
 - 高齢者・障害者・児童福祉施設（グループホーム・小規模多機能施設、福祉センター等）
 - 保健施設（福祉保健センター、各保健センター等） ●幼児・児童施設（児童館、各放課後児童クラブ）
 - 公園施設（地区公園、近隣公園、みよしあそびの王国等）

●庁舎等（施設例：三次市庁舎・各支所）

庁舎等の利用回数が少ない理由について、「希望する時間に利用できない」が男性や40・50代に比較的高い割合となっています。「施設のある場所が不便で、行きづらい」の回答を地域別にみると、川西・三和・甲奴の各地域で割合が高くなっています。



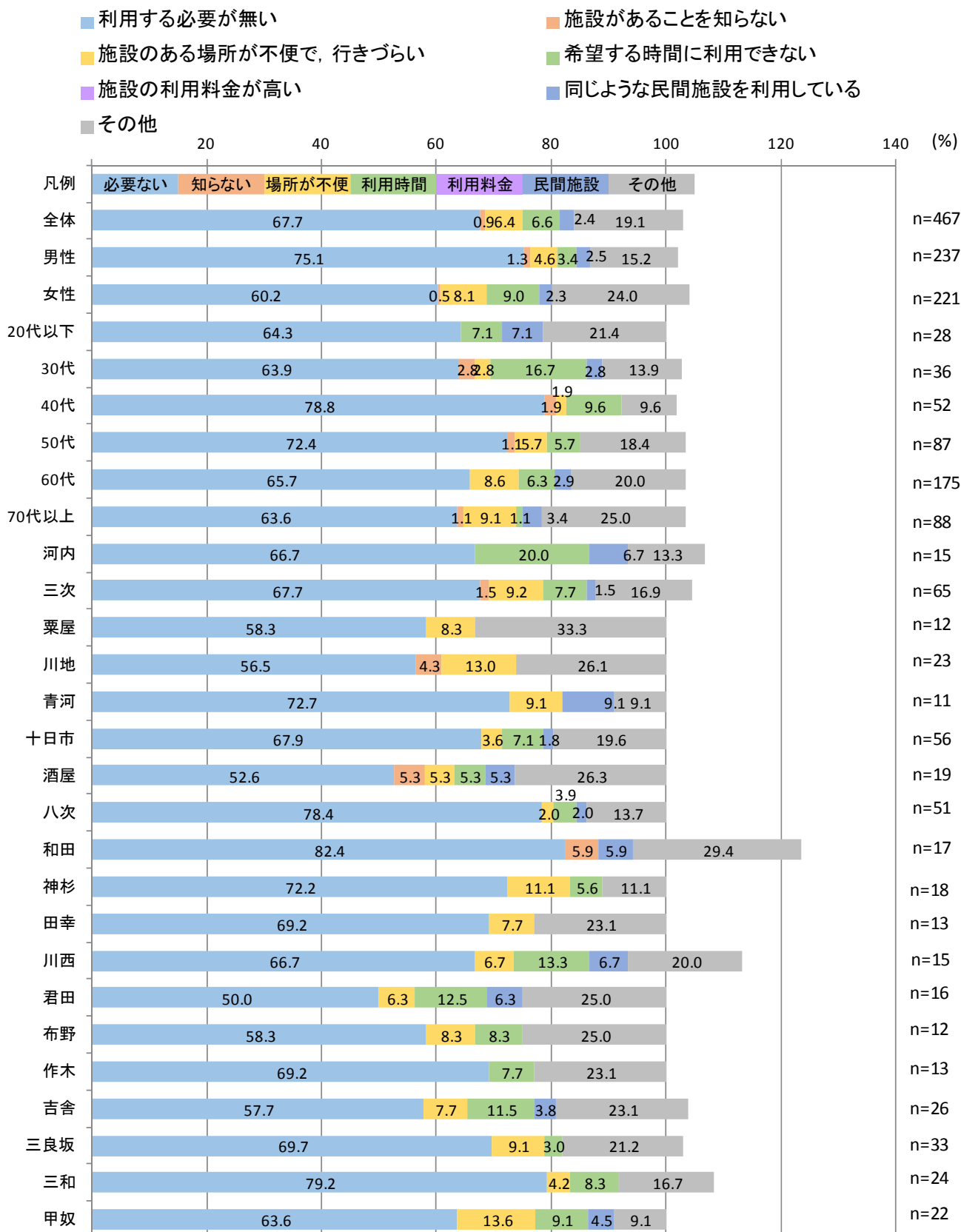
●集会・文化施設（施設例：三次市民ホール、みわ文化センター、各コミュニティセンター等）

集会・文化施設の利用回数が少ない理由について、女性の方が男性に比べ「利用する必要がない」の割合低く、「施設のある場所が不便で、行きづらい」の回答が高くなっています。年齢別では、70代以上で同様の傾向が見られ、「施設のある場所が不便で、行きづらい」が13.8%となっています。地域別では、吉舎地域で同様の傾向が見られます。



●図書館（施設例：市立図書館）

図書館の利用回数が少ない理由について、女性の方が「利用する必要がない」の割合が低く、「施設のある場所が不便で、行きづらい」や「希望する時間に利用できない」が高くなっています。また、30代で「希望する時間に利用できない」が高く、高年齢層や周辺地域に居住する人で「施設のある場所が不便で、行きづらい」が比較的高い傾向が見られます。



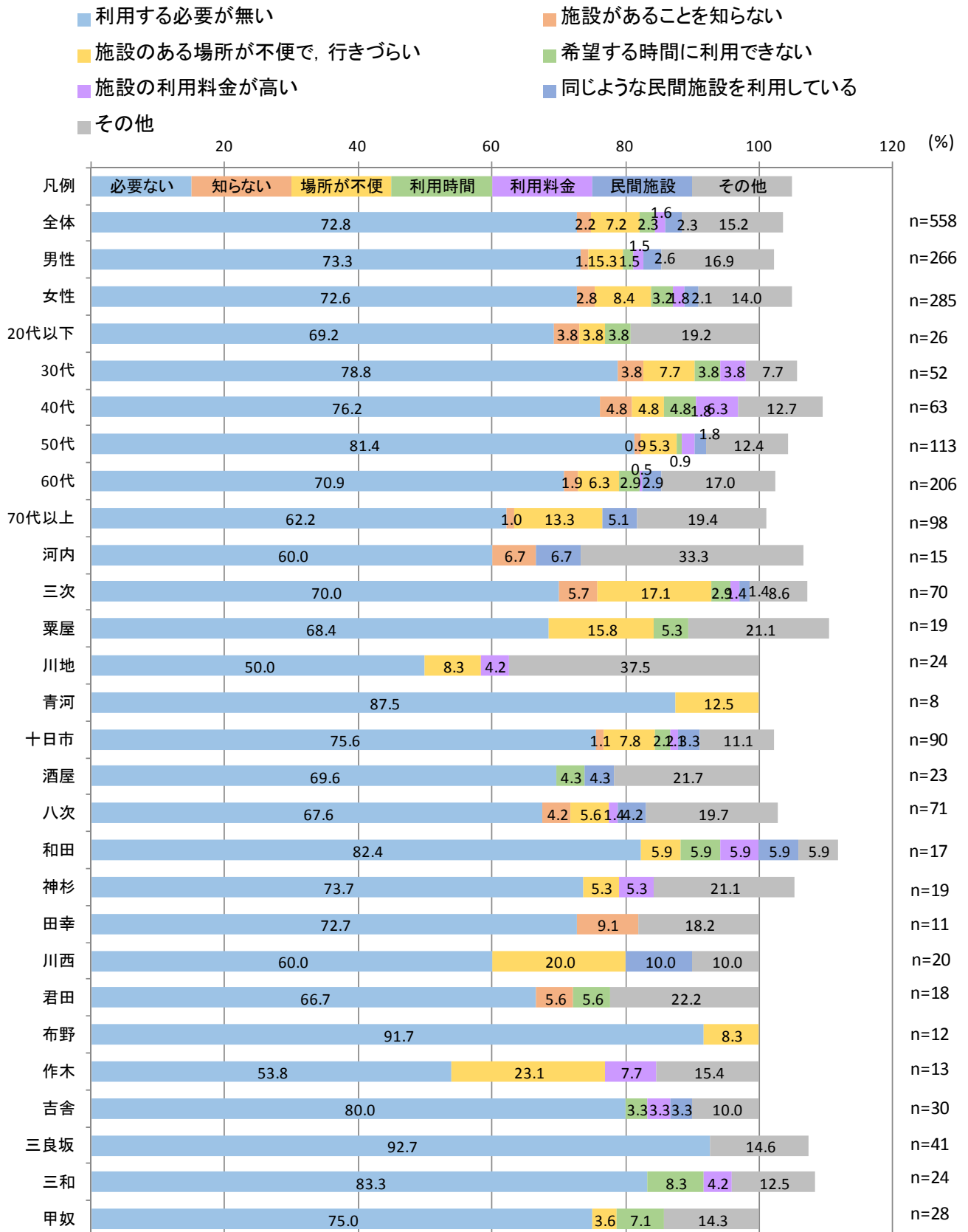
●博物館等（施設例：美術館，歴史民俗資料館，生涯学習センター等）

博物館等の利用回数が少ない理由について、男性より女性の方が「利用する必要がない」の割合が低く、「施設のある場所が不便で、行きづらい」や「施設の利用料金が高い」が高くなっています。また、年齢別では60代、地域別では粟屋・川西両地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」の割合が比較的高くなっています。



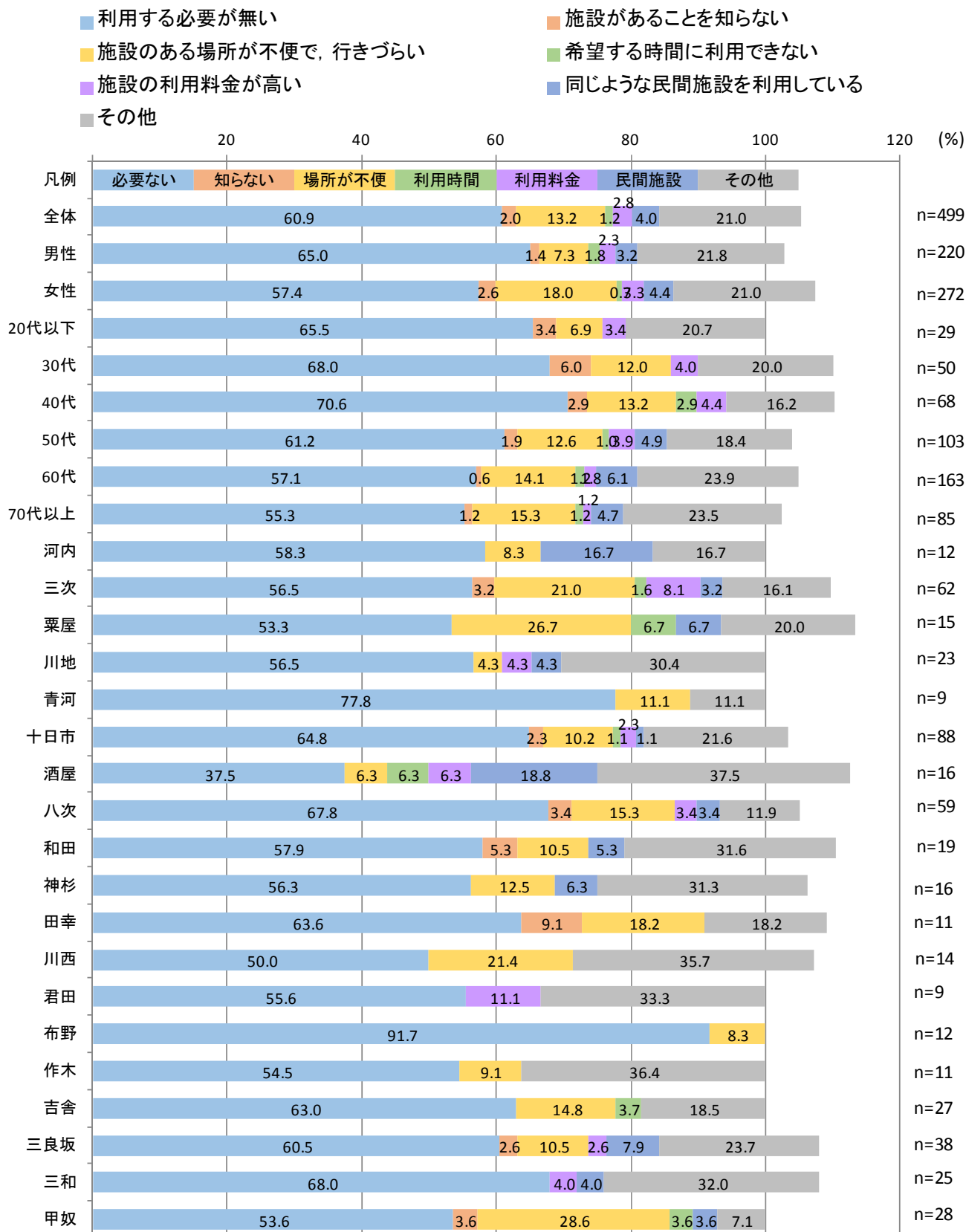
●スポーツ施設（施設例：体育館、吉舎 B&G 海洋センター、陸上競技場 等）

スポーツ施設の利用回数が少ない理由について、女性と70代で「施設のある場所が不便で、行きづらい」の割合が高く、20代と70代で「利用する必要が無い」が低い結果となっています。地域別では、作木・川西や市の中央に位置する三次の各地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」の割合が高くなっています。



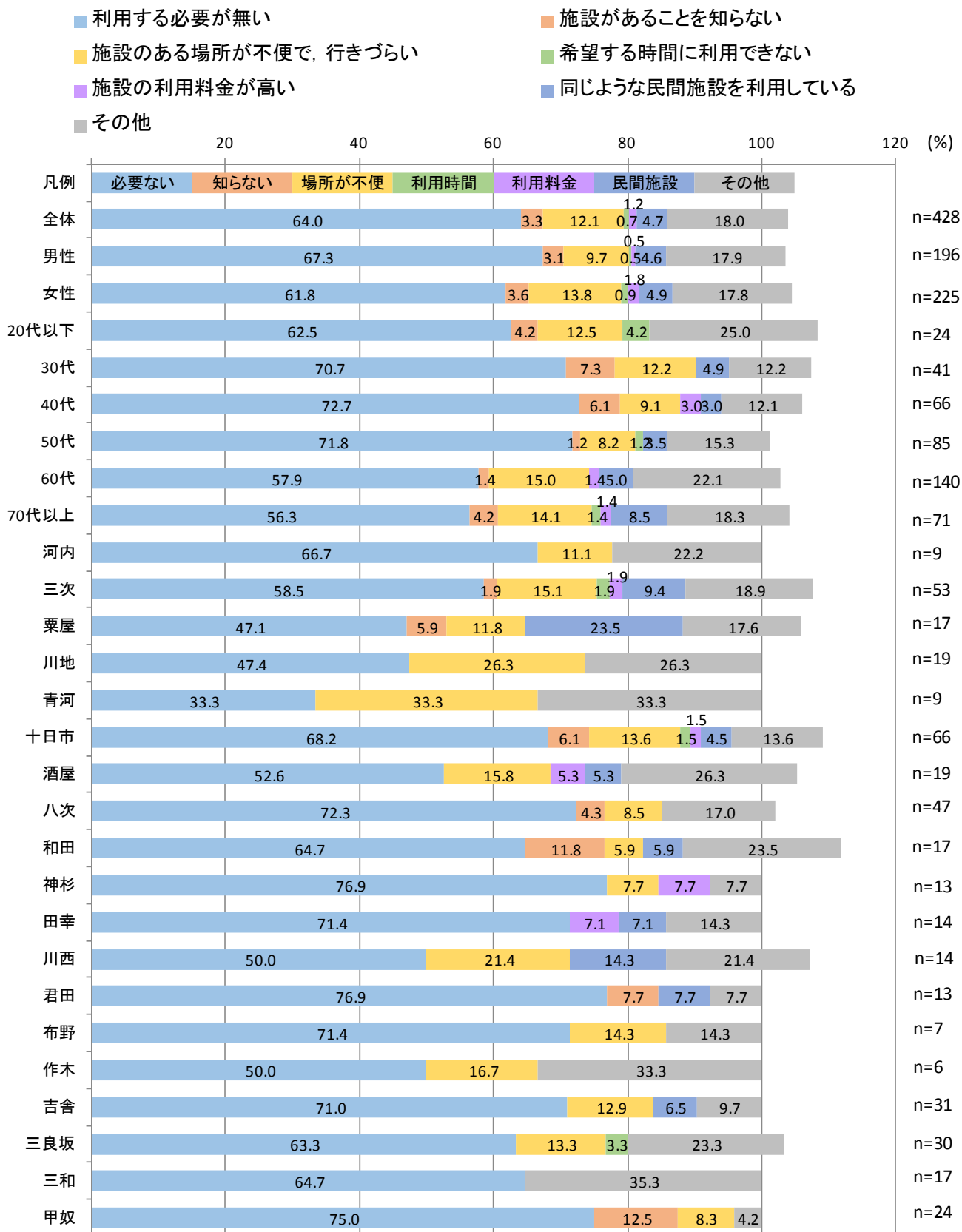
●レクリエーション・観光施設（施設例：江の川カヌー公園さくぎ，君田温泉森の泉，吉舎とみしの里 等）

レクリエーション・観光施設の利用回数が少ない理由について，女性，年齢が高くなるほど，地域別では，甲奴・粟屋・川西の各地域において「施設のある場所が不便で，行きづらい」と回答した人の割合が高く，甲奴地域では 28.6%となっています



●産業系施設（施設例：道の駅ゆめランド布野，物産館みわ375，みらさか竹工房，職業訓練センター，堆肥センター等）

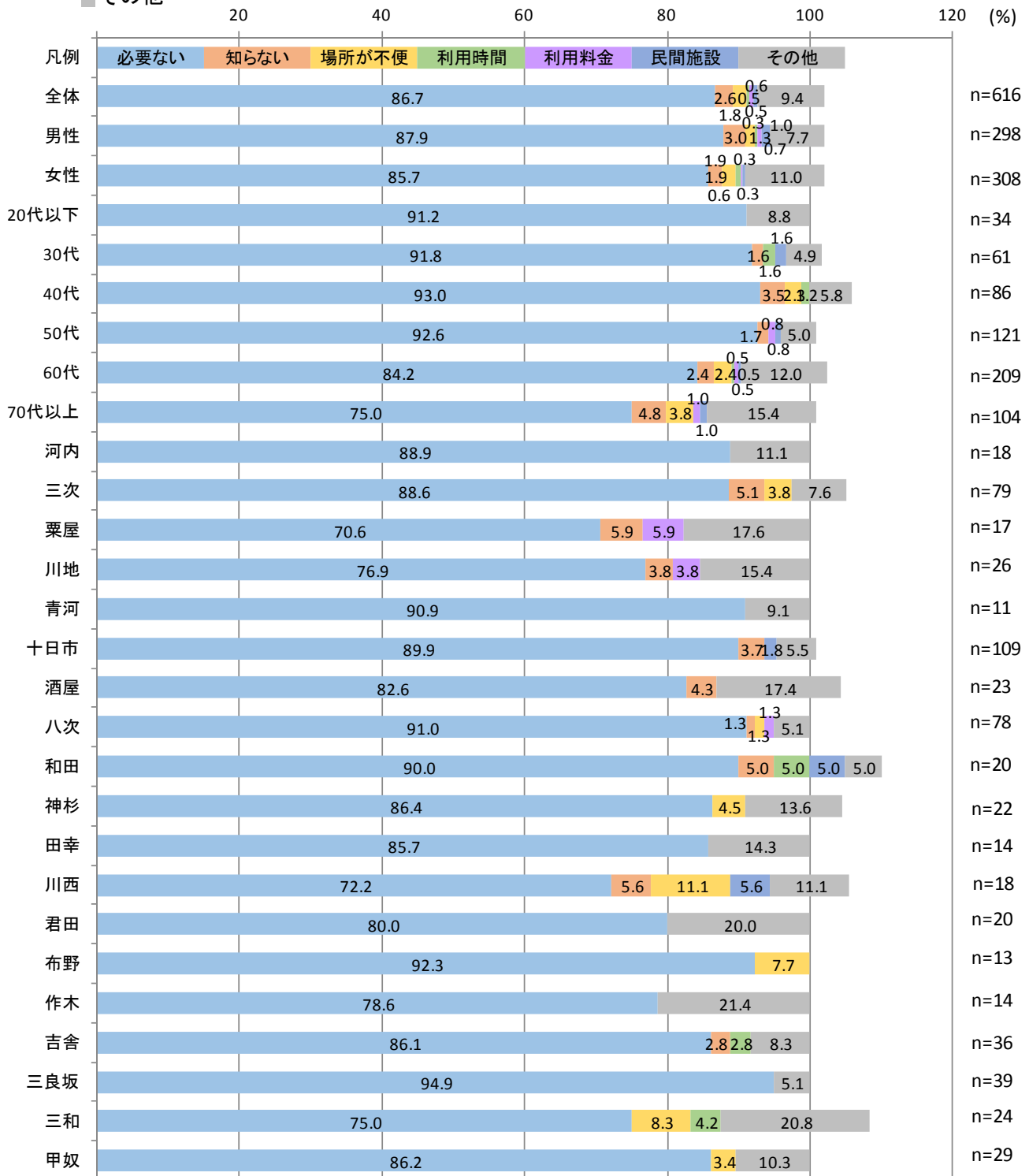
産業系施設の利用回数が少ない理由について、女性の方が「利用する必要が無い」の割合が低く、年齢別では各年代で、地域別では、清河・川地・川西の各地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」と答えた人の割合が高くなっています。



●高齢者・障害者・児童福祉施設（施設例：グループホーム・小規模多機能施設，福祉センター等）

高齢者・障害者・児童福祉施設の利用回数が少ない理由について、男女とも「利用する必要が無い」の割合が85%を超え、年齢別でも20～50代までが90%を超えています。地域別では、川西・三和地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」と答えた人の割合が比較的高い結果となっています。

- 利用する必要が無い
- 施設のある場所が不便で、行きづらい
- 施設の利用料金が高い
- その他
- 施設があることを知らない
- 希望する時間に利用できない
- 同じような民間施設を利用している



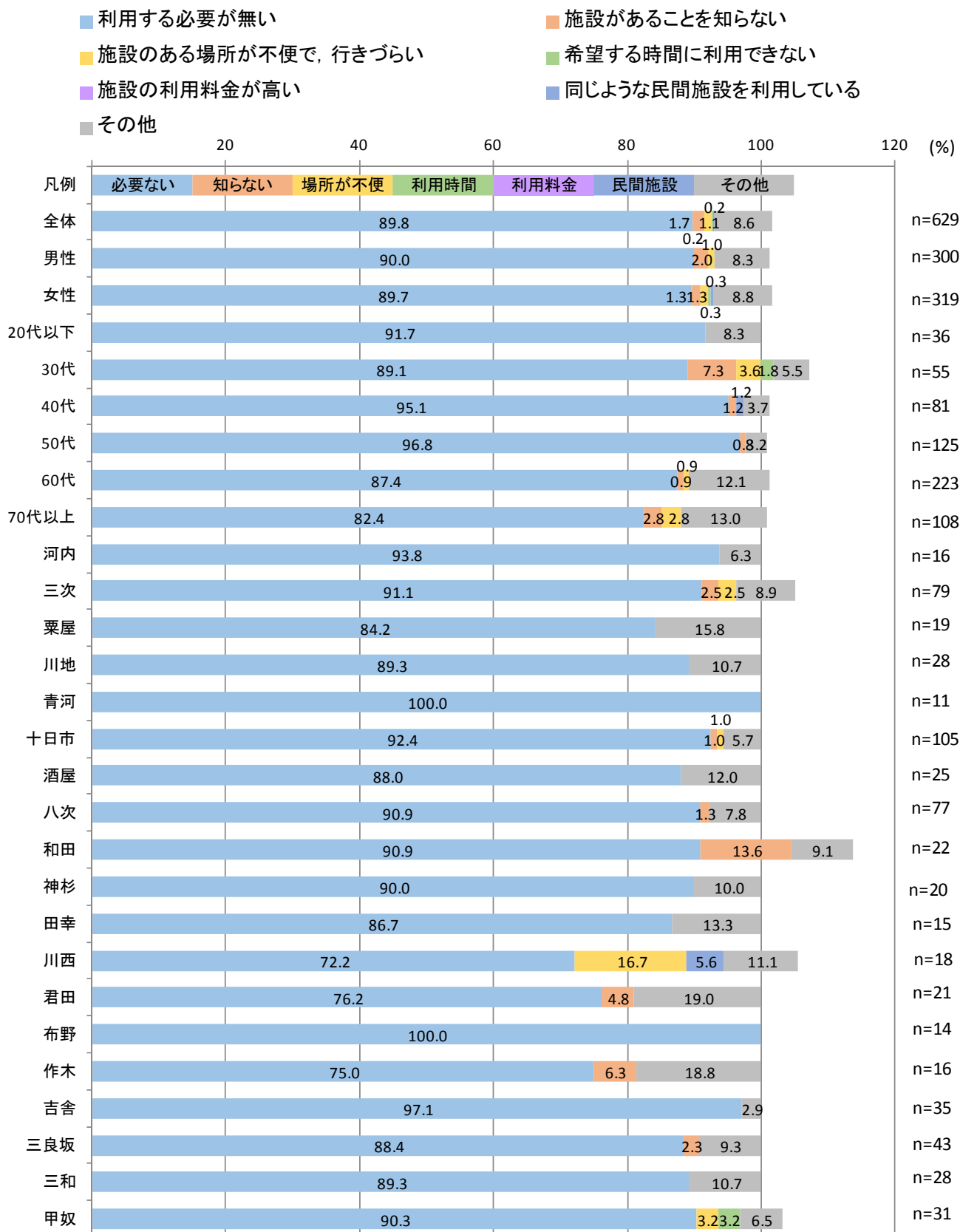
●保健施設（施設例：福祉保健センター、各保健センター等）

保健施設の利用回数が少ない理由について、男女とも「利用する必要が無い」の割合が8割を超え、年齢別では40代が90%を超えているのに対し、70代以上では74%となっています。地域別では、川西・布野地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」と答えた人の割合が比較的高い結果となっています。



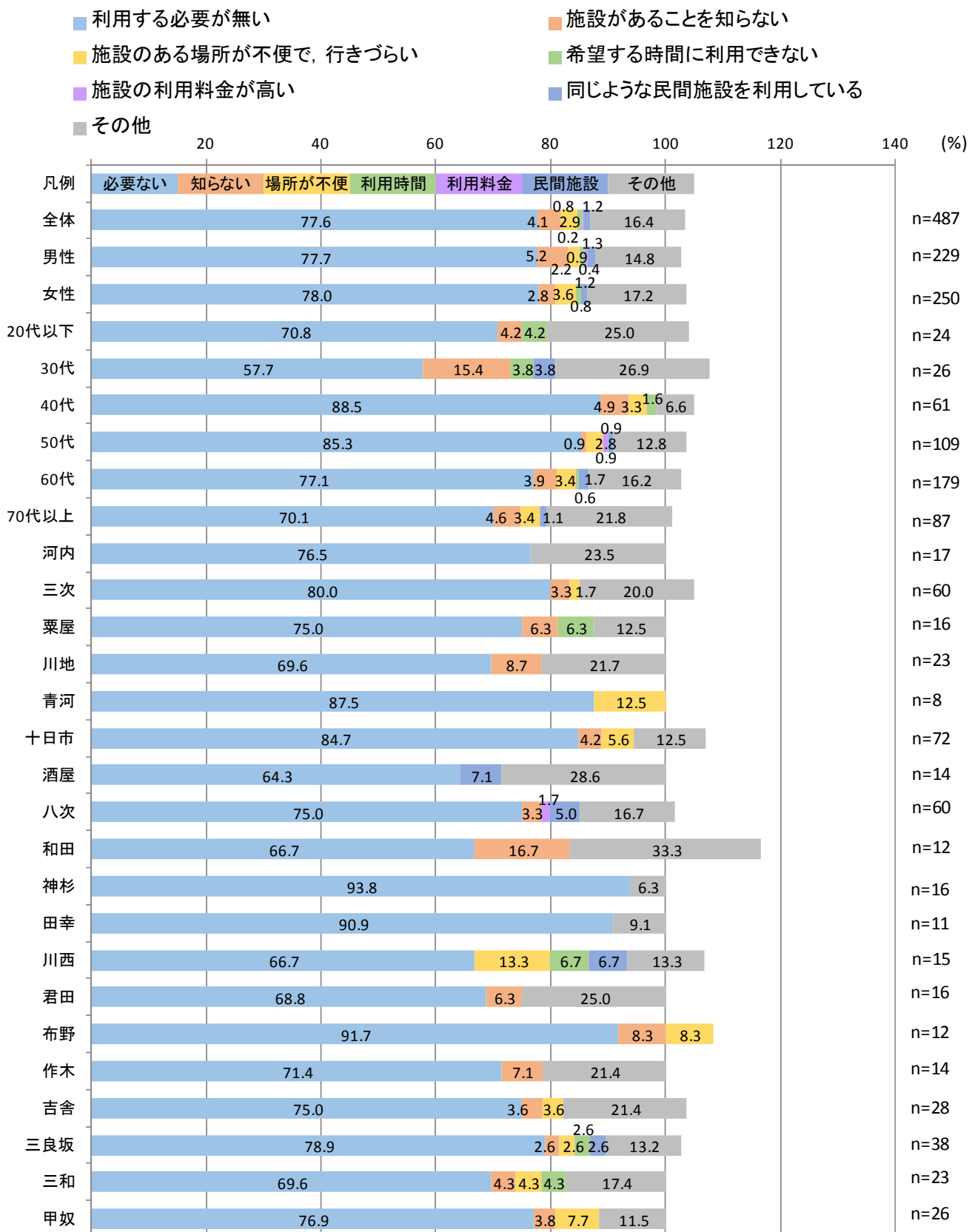
● 幼児・児童施設（施設例：児童館、各放課後児童クラブ）

幼児・児童施設の利用回数が少ない理由について、男女とも、また、20～50代で「利用する必要が無い」の割合が9割前後となっています。地域別でも、多くの地域で同様の結果が見られ、川西地域で「施設のある場所が不便で、行きづらい」の割合がやや高い結果となっています。



●公園施設（施設例：地区公園，近隣公園，みよしあそびの王国 等）

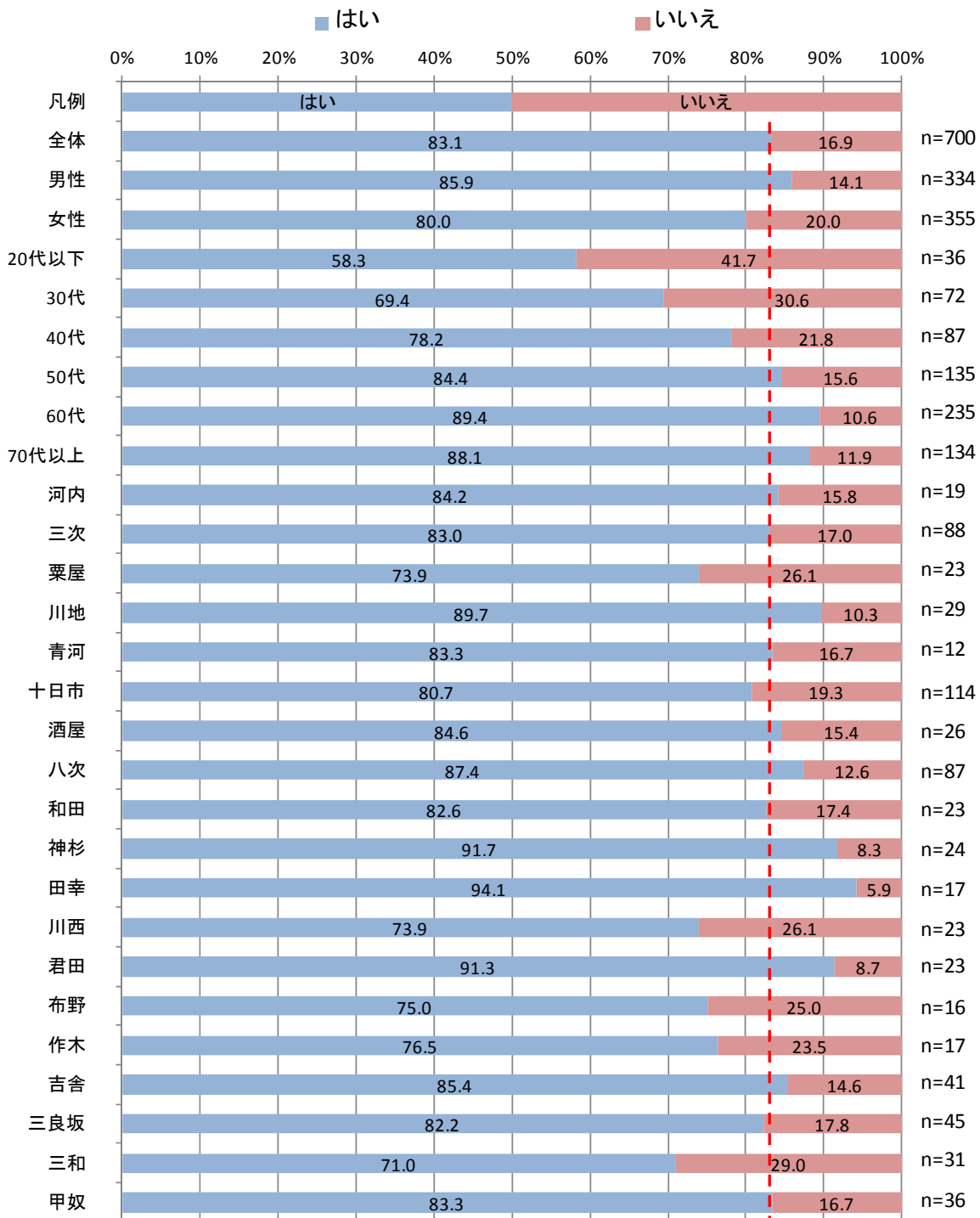
公園施設の利用回数が少ない理由について，男女とも「利用する必要が無い」がほぼ同様の割合で，男性で「施設があることを知らない」がやや高い結果となっています。年齢別では30代で「施設があることを知らない」の割合がやや高く，地域別では，川西地域で「施設のある場所が不便で，行きづらい」と答えた人の割合が他地域に比べ高い結果となっています。



(2) 公共施設への関心度について

問6 今、公共施設の更新問題（老朽化への対応と維持に対して多くの費用がかかること）が全国的に社会問題化していることをご存知でしたか。一つに○をつけてください。

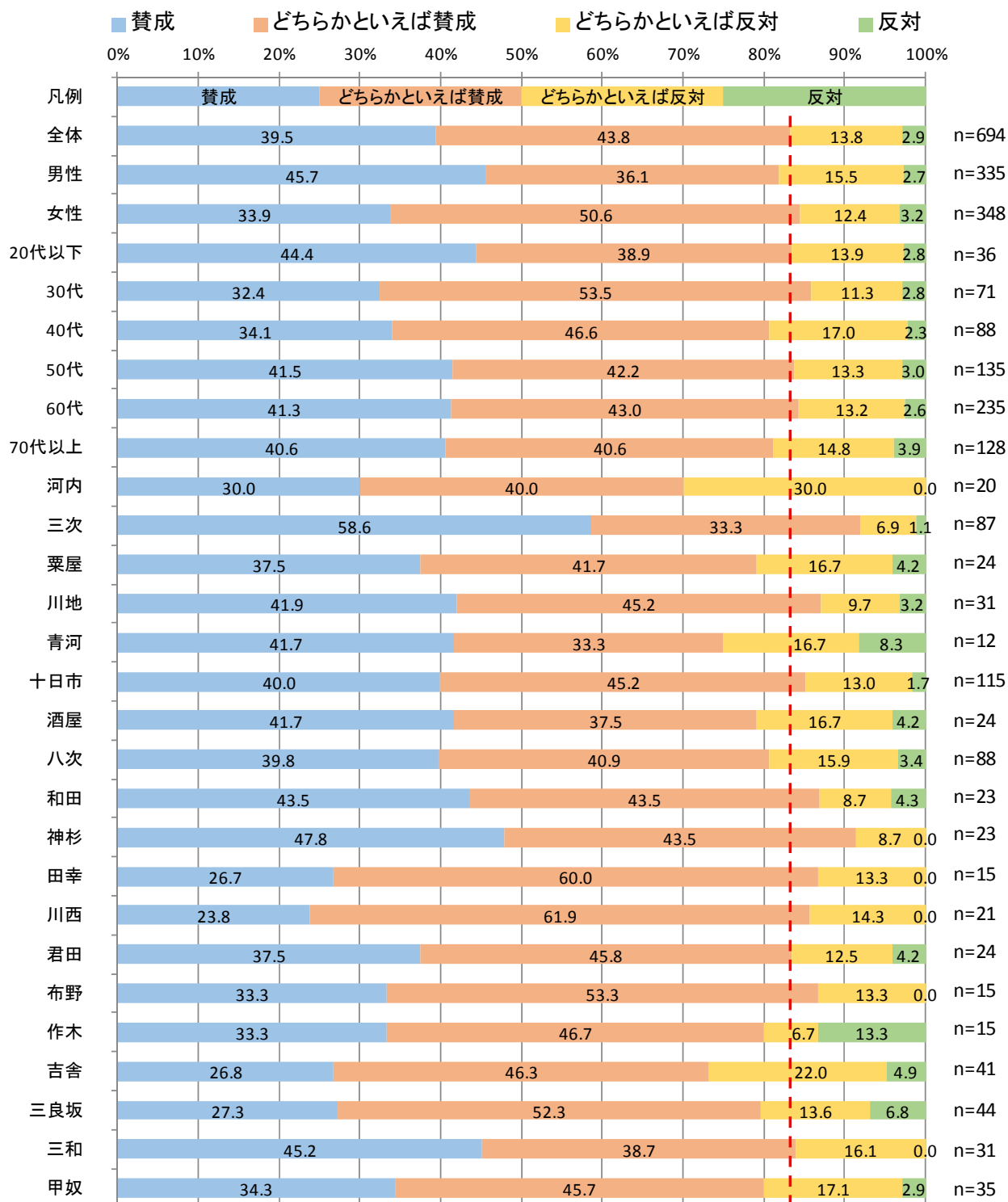
公共施設の更新問題が社会問題化していることについて、83.1%の人が「はい(知っている)」と答えています。男女別では、女性より男性の方で関心度が高く、年齢別では「はい(知っている)」と答えた人は、20代以下の58.3%から60代・70代以上の9割近くまで、年齢が高くなるほど関心度が高くなっています。地域別では、三和・粟屋・川西の各地域で関心度がやや低く、70%の前半となっています。



(3) 公共施設を自治体経営の視点から総合的に管理・活用する取組への賛否について

問 7 必要な公共サービスを維持するために、施設の集約化や複合化、統廃合など、規模の縮小に取り組む必要があると考えることについてどう思われますか。一つに○をつけてください。

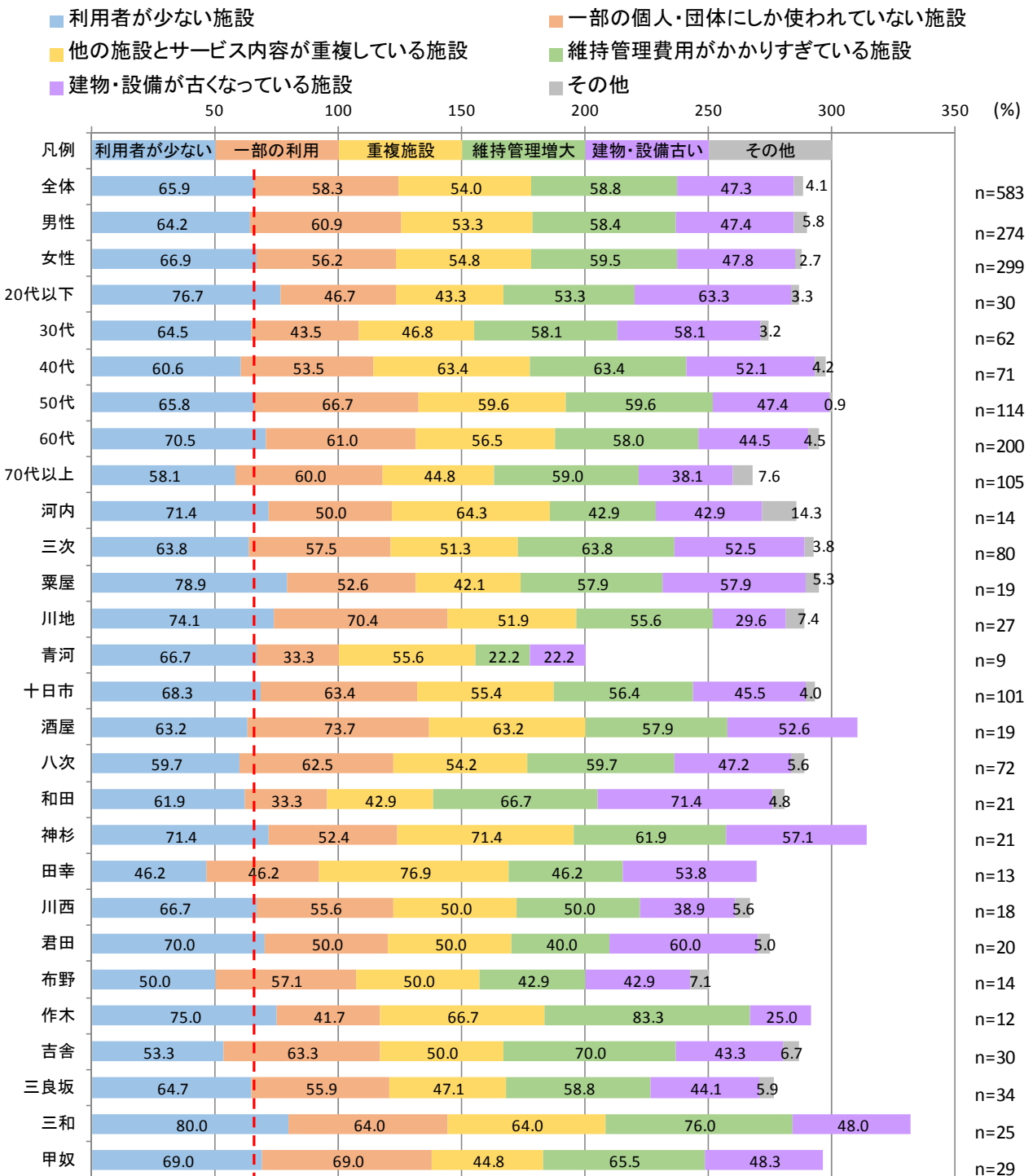
規模縮小への取組の必要性について、全体では「賛成」が39.5%、「どちらかといえば賛成」が43.8%で、8割以上が賛成の意向を示しています。性別では、男性より女性の方がやや賛成の意向が高く、年齢別では20代以下で「賛成」と答えた人が44.4%と最も多く、比較的若年層で賛成の意向が強く出ています。地域別では、比較的中心部に近い河内・青河地域と吉舎地域で賛成の意向が低い結果となっています。



(4) 見直しの対象となる施設について

問 8 「問7」で「1：賛成」または「2：どちらかといえば賛成」とお答えになった方は、どのような施設の見直しを行うとよいと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。「その他」の場合は自由に記載してください。

見直しを行うとよいと思う施設については、全体では「利用者が少ない施設(65.9%)」が高く、「その他」を除き最大と最小の差は 18.6 ポイントしかなく、どれもが見直しの対象になる可能性があります。性別では男女同様の傾向が見られ、年齢別では 20 代以下の「利用者が少ない施設(76.7%)」が特に高く、50 代では「一部の個人・団体にしか使われていない施設(66.7%)」が高くなっています。地域別では、旧町の三和・作木地域で「利用者が少ない施設」と「維持管理費用がかかりすぎている施設」の回答が高く、それぞれ 75%を超えています。



◆その他の意見

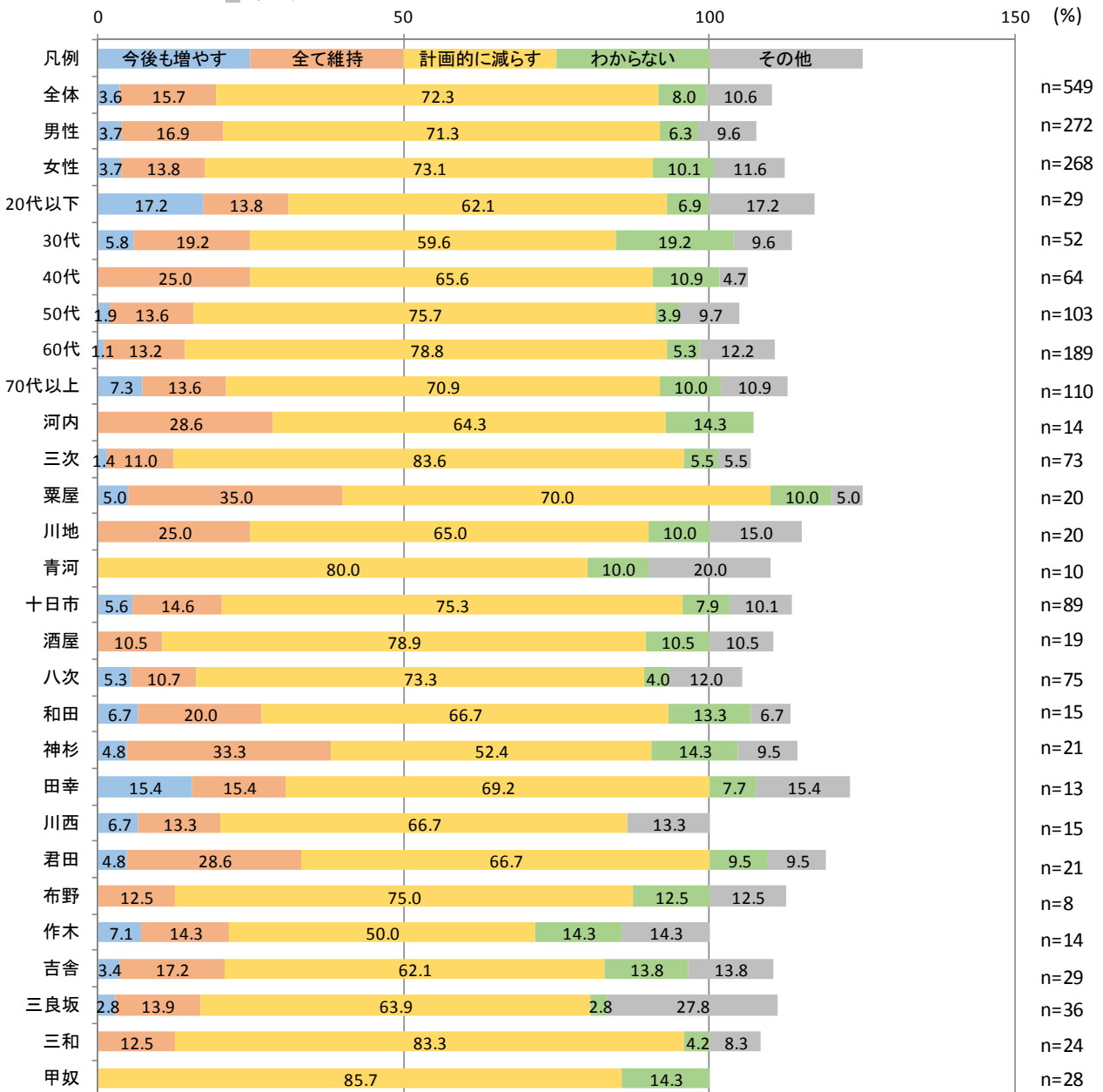
- 建物を作り過ぎ。若年に向け過ぎて高齢者は利用が難しいのでは。
- 収益のある施設自体の収入で維持管理費を賄えない施設。
- きんさいスタジアム不要。
- 施設の維持管理に費用が高むのは当然であるので、施設使用料や利用料に受益者負担分としてある程度上乘せすることも必要だと思います。
- 利用者の多い施設は改修してでも使用出来るようにした方が良いのではないかと思います。
- 一体型の施設に統合・集約。
- 小学校の統廃合，小中学校の一貫教育。
- 将来性の無い新施設は建てないで欲しい。
- 隣保館を今年度三次町に建替える予定と聞いているが，すでに解放同盟政策は終了している。必要の無い建物（施設）をなぜ新築するのか。一部の人のみの利用施設に税金を使うな。市長・議会の能力の無い人間がやるべきでない。
- 維持管理費用が多く必要な施設はなくする。
- 5（建物・設備が古くなっている施設）の場合，事故が起こってしまったからでは遅すぎます。
- 市立美術館等。
- 原則として受益者が負担する仕組み。
- 独自採算性で公共では無く，一般利益を求めべく運営するべき時代に来ていると思う。民営化できる事は指定管理じゃなくて，割の合う〇〇として求めるべきでは。会社も公共も運営できないと意味が無いのではないですか。もちろん勤めている人も一般が良いと思う。修理修繕改修は公共で行い，後に公割償還してもらう方法が好ましい。
- 人口の少ない地域は 1（利用者が少ない施設）・2（一部の個人・団体にしか使われない施設）・5（建物・設備が古くなっている施設）を選択すると地域の人が集まる場所が無くなる。車に乗れる時は地域の施設に出掛けられるが，高額のバス代を払っては行事に参加出来なくなる。複雑。
- 集約化，複合化，統廃合ではなく廃止も選択肢。
- 利用に関する地域の関心がない場合，利用者は関係ない。
- 交通の便が悪い。
- 古くなっても必要な施設は直しても使うべき。
- 「P」駐車が少ない。
- 中途半端な建物が多い。まちづくりセンター・コミュニティセンター・きりりなど同じ様なもので。半端に駐車場がわかり難く，停めにくい，使いにくい。高齢になりつつあるこの時代に，一般的になぜ作れなかったのか，何がやさしさなのか，節約なのか，理解出来ない。大きく長く広く考えて町づくりをして欲しい。
- 維持管理が出来ない施設は民間に売却するか取り壊し更地にし，新婚さん限定で戸建てにすれば良い。子育て人口も増すのでは。

(5) 今後の公共施設の建替えや維持管理の考え方について

問 9 公共施設の老朽化に伴い、建替えや維持管理に必要な経費が増えていくことが見込まれますが、今後の公共施設はどうあるべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものすべてに○をつけてください。「その他」の場合は自由に記載してください。

今後の公共施設のあるべき方向性について、全体では「公共施設の集約・統合や今ある施設の空きスペースを有効利用するなどして、計画的に公共施設を減らしていく（72.3%）」が最も高く、統廃合等による施設の縮減に7割以上の方が肯定的な意見を持っています。性別においてもほぼ全体と同じ傾向にあり、年齢別では高年齢層で全体と同様の傾向を示し、一方で20代以下では「施設はまだ不足しているので、今後も増やしていく」の割合が17.2%となっています。地域別では、甲奴・三次・三和の各地域で施設の縮減に肯定的な意見が出されています。

- 施設数は、今後も増やしていく
- 現在ある施設は全て建替えて維持していき、新たに施設は増やさない
- 集約・統廃合や今ある施設の有効利用等、計画的に減らしていく
- わからない
- その他



◆その他の意見

- 施設の公共性を十分に検討し、老朽化や非採算性を理由に無くすものではない。
- 本当に必要な施設かどうか検討し見直す。
- 増やすのではなく、皆が利用しやすく、繰り返し使用できるようにしたら良いのでは。
- 増減のみを検討するのではなく、個々の施設及びそれを総合的に市として適切にコンサルティングしていくトータルバランスが必要で、地域ミーティングや専門部会の立ち上げも有だと思ふ。
- 博物館、野球場は何故必要であったか考えよう。
- 外観も大事ですが、例えば子供の遊ぶ場の充実。屋内で遊べる所が少なく、天候の悪い日は遠く（市内や東広島など）まで行かないと身体を動かして遊べない。
- 次に建替える時はバリアフリーにして欲しい。
- 施設を減らすのにも撤去費が必要。
- フットサルコートを増やして欲しい。
- 集約・統廃合は施設までの距離が遠くなり益々利用しづらくなる。
- 利用料の値上げをする。建替え及び修理の為積立を十分行う。
- 利用率の低い施設は（用途の限られた施設等）は廃止。多用途施設に集約。
- 1つの施設で何の活動も出来るようになれば良い。
- 旧市内は集約。村部はサービスを維持。
- 公共施設の中でも尾関山に、お客さんが山に行っても便所が古くて暗くて汚くて、これでは建て替えを要する。早く直して多くの人に気持ち良く使って貰う事を考えて欲しい。
- 温水プール等、老朽化に伴い維持管理に経費が増えたとすれば、もっと交通の便が利用しやすいような場所に建ててあれば、皆さんに喜んで健康寿命を全うする為に使用者が増えると思うのですが。
- 公共施設がどのように使われているか、また遊んでいるか、もっと公開して欲しい。
- 必要な施設はなるべく残して行く。
- 必要なものは今後も増やしていく。不要なものは減らしていく。
- 地域に密着した施設の存在が必要。高齢化になれば近くに施設があると便利だし、人と人のふれあい、交わり、助け合いの活性化につながる必要がある。
- コミュニティセンターは残して活用していくと良い。公的機関が関与する健康教室や介護、予防の取り組みに。（この領域は今後民間委託にするのでしょうか？課題があると思います。）
- 全施設ではなく、必要な施設を維持すべきかと・・・。
- もっと町民の意を聞き利用しやすくして町民に維持管理できるようにする。
- 集約しそこに集まれる手段（公共交通機関）を充実させる。点在する非効率さをなくす（人件費、修繕費などの無駄をなくす）。
- 本当に必要かどうかを良く考えて欲しい。
- 現在あるものを減らすというのは、その地域にとって誠に不幸なことだと思います。しかし2のように「全て建替える」というのもいかなものでしょう。もっと有効かつ経済面の負担を抑える知恵を絞って欲しいものです。
- 経費がかかるのは十分理解できますが、施設がなくなる事で利用されている方の足が遠のいたり、文化的な事が出来なくなる。どちらとも言い難いです。

- 建替えの必要なものは順次建替えや補修を施し、有効利用・活用しつつ、できるだけ維持していければ良いのでは。
- 大きな箱物でも小さく使える視点を（照明・空調など）
- 本当に必要かどうかの判断が重要である。
- 廃止。第三セクターも含めて検討（特にケーブル）。まず有りきではなく、新規必要の検討。
- 大学など人が集まり町が活性化するような施設を作るべき。
- 維持管理費用がかかるので全て閉鎖すべき。
- 先を見据えて、老人は現状のままで利用し、若い人の為に予算を使って欲しい。
- 高齢化が進み利用する場合距離と交通手段が問題となる。小規模化にして使い易くする。
- 学校の空教室を利用するなどの工夫が必要。
- 現在は仕事の関係上利用していないが、退職後は使用する。3（集約・統廃合や今ある施設の有効利用等、計画的に減らしていく）は反対、近くにあると使用可能と思われる。
- どこの施設を利用するにも車が無い者にはしたくてもできない。
- 旧市内ばかり整備されていることは納得出来ない。納税する気にならない。
- 今ある建物は建て替えをしなくて良い物は地域でそれぞれ維持管理し活用していかないと、集約すれば遺利度は高齢者が増えている今日、ますます難しくなると思う。維持管理に経費がかかるのをどうしたら良いかを考えて行くのが大変に必要だと思います。
- 高齢化を重視するなら、小さくても多くあるほうが良いと思う。（遠くに大きくではなく、小さくとも近くに、みたいな？）2（集約・統廃合や今ある施設の有効利用等、計画的に減らしていく）だったりします？
- 公共施設の中には減らしても良いと思われるものや維持して欲しいものがあり、一括には答えられない。
- 地域に必要な施設は管理して貰いたいと思います。
- 施設の集約統合をし、地域の集会所と合わせて利用できるようにして貰いたい。地域の集会所や自治センターなども老朽化しており、集会所として、避難所として使うには危ない建物もあると思う。学校は減らさないで欲しい。
- 施設の空スペースを有効利用。減らしては交通の足のない人は不便。
- 箱物は要りません。税金がかかるものはダメ。
- 全て建替えなくても、必要に応じて建替えあるいはリフォームして、現在の施設を上手に活用すると良い。減らしてはいけないと思う。
- 無駄かどうか分らないが、年代に合わせて減らして行く事。
- 「あったら便利」より「なければ困る」という基準で考えて行って欲しい。利用者側の積極利用を啓発して欲しい。
- 一個人や団体使用者、公共経費使用、意味が無い、無駄。
- 施設を複合化して利用し易いようにする。
- 例えば学校等は老人ホームにする。老人ホームの中に保育所を作る。幸せなひととき送らせてあげる、老人に。老人ホームに安くて入れるように。

(6) 建替えや維持管理に対する負担について

問 10 今後、生産年齢人口（15～64 歳人口）の減少による税収減により、財政状況がより厳しくなることが見込まれます。公共施設の建替えや維持管理に必要な経費が不足する場合、あなたはどのように対応すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものすべてに○をつけてください。「その他」の場合は自由に記載してください。

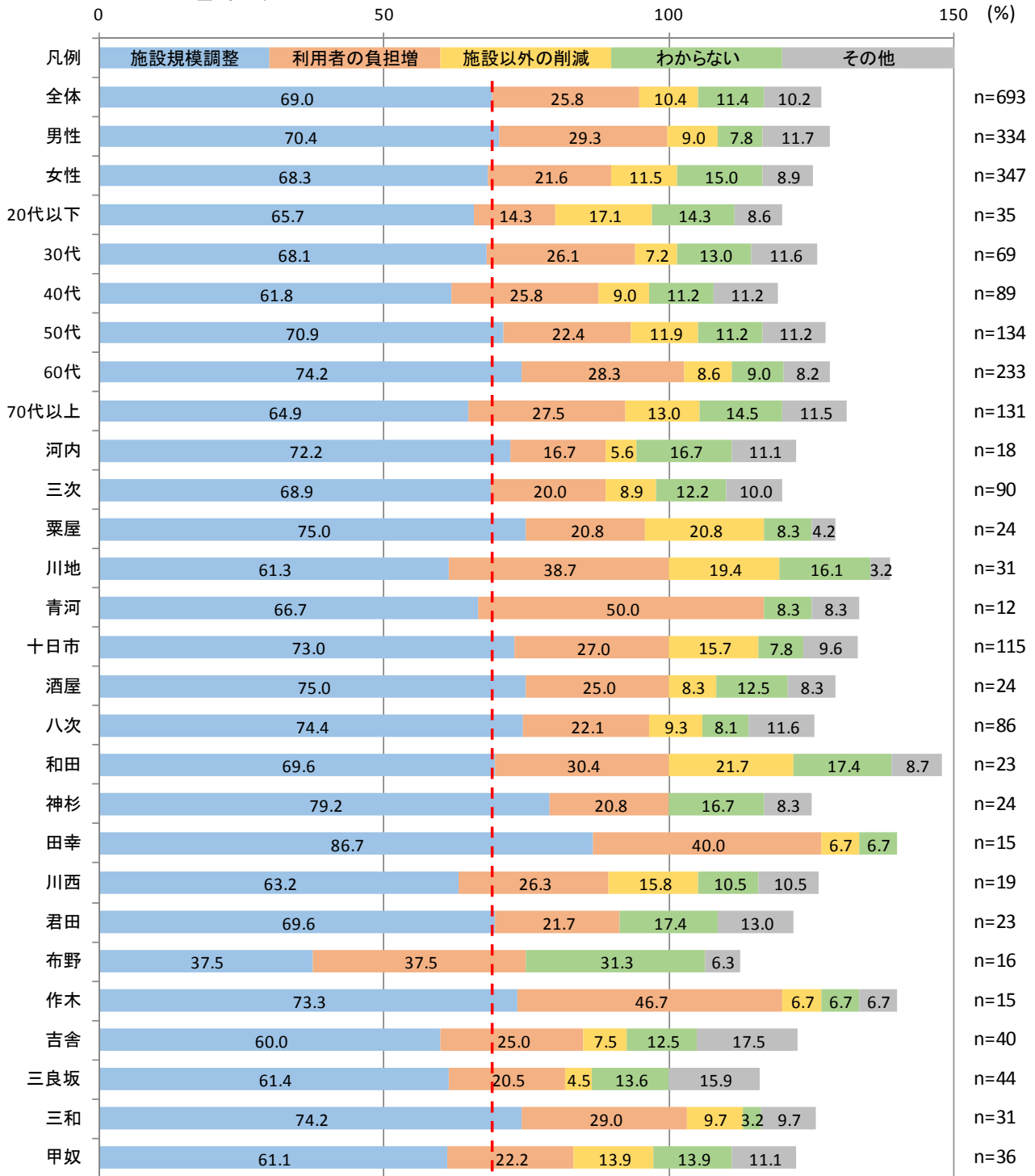
建替えや維持管理への財源が不足した場合の対応として、全体では「公共施設を統廃合し、財政状況に見合った規模にする（69.0%）」が最も高く、次いで「利用料金の値上げなど、利用者の負担が増えるのは仕方ない（25.8%）」と続き、統廃合等による規模縮減や利用者負担に肯定的な意見が多く出されています。

性別では、男性で「利用料金の値上げなど、利用者の負担が増えるのは仕方ない（29.3%）」が全体に比べ高い以外は、男女ともに全体とほぼ同じ傾向を示しています。

年齢別では、「公共施設を統廃合し、財政状況に見合った量にする」の割合が高い中で、20代以下で「公共施設は減らさずに、他の公共サービスを削減し、経費をまかなう（17.1%）」が他の年代に比べ高くなっています。

地域別では、田幸・神杉の両地域で「公共施設を統廃合し、財政状況に見合った規模にする」の割合が 8 割前後と高く、青河・作木地域で「利用料金の値上げなど、利用者の負担が増えるのは仕方ない」が 5 割近くになっており、利用者負担に肯定的な意見が他地域に比べ高くなっています。

- 公共施設を統廃合し、財政状況に見合った規模にする
- 料金の値上げなど、利用者の負担が増えるのは仕方がない
- 公共施設は減らさずに、他の公共サービスを削減し、経費をまかなう
- わからない
- その他



◆その他の意見

- 公共施設を利用者ニーズをリサーチし適切なものとする。利用度の向上，利用料金の適正化は市民の声を聞く場を設け，よく審議して決める。どうしてもいらぬものは削減やむなし。
- 新たなものは作らない。災害時などに活用できるよう，又，身近な生活関連に活用できるよう工夫する。
- 利用者が少なく利用するのに不便な施設は，経費を削減するため廃止又は転用すべき。
- 税金の無駄遣いをやめる。
- ハコモノ建設には反対があったのに作り続けてきた行政の責任は大きい。今になってガタガタ言うこと自体が遅すぎて腹が立つ。
- 民間の事業経営を参考にすること。
- 情報化（PC・スマホ等）の進展等，時代の進展に合わせて，必要とされる公共施設のコンセプト（設置目的・テーマ）を明確にする必要あり。→必要な施設の選別，維持
- 維持管理の経費を減らすボランティアの活用。
- 必要ない箱物はなくすこと。市議の言いなりになるな。
- 各自治会等への交付金を減らし，その分施設の充実を図る。
- 出来るだけ公務員の人件費等を削減して維持管理すべきである。
- 観光事業を促進して外からの収益を稼ぐ。
- この町が寂れないよう，施設をきれいに維持するような法案を出す。
- 公共施設の必要性，利用者数，住民の意見などまとめて， unnecessaryな物を減らしたり，利用者数を増やす企画や情報を出して，活気のあるものにして頂きたいと思います。
- 利用料金の値上げをせず，利用者の増を図る取り組みを進める。
- 利用率の低い公共施設は，何故そうなったのか？時代のニーズに見合ったサービスを考えていく必要では？
- 収入が減っているのなら支出を減らすべき。
- 生産年齢人口が減少する見込みなら，増やす対策を…。給与も少ないので税収入も少ないかと…。
- 一人一人の意識を高め(財政が厳しいことを話し合い)その施設をその地区の人達にまかす。
- 利用する人が限られるもの等，利用する市民が「使用料」として料金を払う。
- 利用者の負担が増えるのは良くない。
- 公務員・議会議員数削減。民間で出来る事は民間に委託する。トレッタ・布野道の駅・カヌー公園等，市が税金を投入し施設を作り，管理の人件費等を税金でまかなう様な愚策を考えるな。税金を投入すれば利益が出たら返済させるべきで，利益が出れば皆で分けて赤字になれば税金で補う制度誰が考えるのか。
- 財政状況の具体例を提示して欲しい。赤字等（数字にて）。市民の負担を増やさぬよう希望。
- 公共施設以外無駄が多すぎる。
- 問題（課題）山積みで決定的な案は今の私の中で思いつきません。
- 民間企業等とコラボして利益を生み維持出来る仕組みを考える。
- 議員の給料を減らしたらどうですか。高齢者や働いている人から取るのではなく。

- 結局の所、料金の値上げになり利用者が少なくなるのは避けたい所。不要で立派な建物などに使わず、利用者の為の施設であって欲しい。
- 必要か不必要かの判断を明確にする。
- 観光収入等に力を入れ民営化する。利用価値の薄いものが多く無駄に見える。
- まず必要性から検討、高齢少子化に伴う外部要因にあった施設を前提として既存の設備は全て廃止検討。
- 各施設を何らかの基準でランク付けしてから統廃合を検討する。財政状況は責任が明確で無いと改善できない。
- 維持管理をその地域や利用団体へも任せ、みんなで管理していく。
- 人員を減らす。サービスは維持する。
- 全て閉鎖してください。
- 国から経費を出してもらえばいいと思う。
- 小規模で分散させる。
- 不要な所への資金を使い過ぎているので、本当に必要な所に資金を使って欲しい。
- コミュニティセンターの人件費の削減。非常勤で良いのでは。
- 無駄は省かないといけませんが、むやみに施設を減らすことは得策とは言えない。より集客率・利用率が上がるよう、イベントやサークル（若者向けで利用料の安いもの）を行い、収益を得ることで経費を賄う等、活気あふれる施設運営に知恵を絞って欲しい。
- 税収増に繋がる産業・企業の支援。例）法人税の減額など。
- 都市に移転もありかと思う。
- 今何を優先するか、交換する、出来るサービスがあるのでしょうか。それぞれが大切なことなので分らない。3の公共サービスを削減し経費を賄う方法は、今国の政策で行っている方法だと思うが、それで若者も高齢者も生活困難な状態にしているのでは無いかと思う。何をどうすれば良いかと言う事は分らない。世の中、貧困を解消するために働こうとするが、働けない人、働かない人、どうしたら良いかは自分が健康であるためにはどうすればよいのかが一番大事なのではと思いますが、誰もが健康でありたいのだがこれは自分の思うようにはいかない。
- 市中心部から離れ、公共交通機関の整っていない場所にとっては統廃合され不便になるのは避けて欲しい。統廃合するのであれば、弱者（高齢者・障がい者など）に十分配慮した取り組みを考えていただきたい。
- 人口減少、少子化問題にもっと力を入れる。若者の声をもっと聞いて、三次で子育てしたいと思える街にしていく。
- 地域NPO的なもので管理を行う。
- 地域の意見を良く聞く事。
- いつ、どのくらい費用が必要か試算し、毎年積み立てていく。壊れてから買う（直す）のでは遅い。
- 多くの人が集まり使ってくれて日常的に利用できる施設作りをして貰いたい。飲食や散歩スペース、休むスペースなど、気軽に利用できる場所を備えた施設を造り、子供連れからお年寄りまでくつろぐことの出来るスペースを提供し、利用料や飲食代で賄う。
- 公共施設は最小限でよい。

- 施設が減ればさらに人口減少に拍車がかかるのでは無いでしょうか。
- ふるさと納税など， 税収を増やす努力をして欲しい。
- 全てに使用料を取ればいい
- 市長， 副市長の交際費， 議員活動費の大幅な削減。
- 税収増になるショッピングモール等の誘致等， 減になることばかりでなく， 尾道松江道も有効活用してください。土地はあるのに勿体無い。人口が少ないのだから， 市外・県外からの収入を獲得して下さい。自給自足では発展しません。
- 一般企業にスポンサーになって貰う。
- どんどん利用するように市の職員が進め， 文化的なことをどんどんするように進める。宣伝する。座って待つのではなく進めて健康的で楽しい人生を送れるように。

(7) 自由回答

問 11 本市の公共施設のあり方について、ご意見をお聞かせください。

◆全般的な推進について

- 旧三次市文化会館を早く撤去するべきと思う。
- 人口が減少していくことが分っているのであれば、人口が増えるような取り組みを考える。現在利用する人数が少ない施設は、本当に必要なものか、もっと分り易く住民にアンケートなどで意見を集め、検討して行けば良いのでは無いでしょうか。
- 建てる（建て替え）前に民意を聞く。特に生産年齢人口の意見を尊重すべき。その際、予算についての詳細を明かにする。
- 将来の財源を考える。
- 市役所や市議会の考え方をもっともっと小単位の地域コミュニティーレベルで考えて欲しい。住民個々とひざ詰めで議論する場をより多くセッティングしていただければ、より有用な公共施設の運営のあり方が創出されるのでは。
- 高齢化に対応した使い易い設備を考えてほしいです。
- 利用者負担に見合うサービスのあり方の検討。今の時代、住民（利用者）の自己責任（負担）は当然のことではあるが、利用料金の値上げは止むを得ないと思うが、それに対しいかに充実したサービスを受けられるかが利用者の望みである。また、利用者が少ないという理由だけで公共施設を閉鎖すべきでないと思う。
- 多種多様な公共施設があることが、市民にとって大変有り難く心強いことです。職員の皆様、頑張ってください。
- 利用したくても、そこに行くまでの移動手段がない人もいると思うので、そういう配慮もあったらいいと思う。
- 自分の子供がまだ小さいので、子供に関わる所などしか利用しませんが、子育てしやすい町だと人口も増えるのかなと思います。
- 新しく建てられた市役所本庁舎、市民ホールの場所について、他にいい所があったように思う。これから先、公共施設の建設にあたっては、その場限りの住民の意見だけではなく、もっと先を考えてやっていただきたい。
- やまなみ街道が出来たのに三次東IC付近に休憩施設や三次市内の看板（道案内）などが無いため、道聞が多い。※三次東ICからワイナリーまでの説明が難しい。なぜ東酒屋ばかり施設が多いのかわからない。もう少し分散できなかったのか。
- ファシリティマネジメントの推進によるコスト削減とサービス向上に努めてもらいたい。
- 広島県立みよし公園にある施設での運動、健康施設使用に当たっては、市の補助（割り引き付）があると良い。市と県との公共施設の均衡性を保つ。医療費抑制の為に運動施設の積極的利用を促進させる。（東広島市では高齢者のスポーツ助成をしている。）
- 組合員で集会所を建てたが、組合員が減少し維持管理に経費が増え、市で管理して貰えないか？
- 三次市庁舎、市民ホール、美術館、陸上競技場、野球場などの公共施設が点在し過ぎ。公共施設は1ヶ所集中が良い。
- 市民のニーズを踏まえ、必要最小限なものにする。

- 各地区のコミュニティの大切な場所なので、今ある施設はそのまま維持して行く。高齢化の社会なので、元気な人に維持管理を任せて、出来るだけその地区の人で協力して行く。市民は公に頼るばかりでなく、自分たちで助け合って行く社会にしたいと思います。
- 行われる行事について参加者が応分の負担をすべきと思う。
- 各市町村が全て建設したようなやり方は止めるべき。30分で行ける程度に集約したら良い。
- 同じものは1ヶ所にする。その代わりに、交通の便を便利にして、どこからでもバス、マイカーなどで行ける様にして欲しい。
- 公共施設は小さくても地域の人々の心の拠り所として利用出来れば良いです。何時もきれいに使いましょう。あまり沢山作る必要はありませんが、地域にあった物を。(オリンピックの競技場は大き過ぎるし、後の維持費大変ですよ。)
- 清潔で使いやすい(利用しやすい)施設が良い。
- 同じ施設が多過ぎる。公共交通機関のある場所に集約した方が利用は多くなると思う。
- 公共交通機関の充実と公共施設の開放。気軽に訪ねることが可能で、クールシェア、ウォームシェアが市民交流の出来る空間にして欲しい。
- 人口減少は以前より承知の事、財政難になるにも係わらず箱物の大きさに驚いている。計画性(安全・確実な)をもって運営して頂きたい。くれぐれも悪循環にならぬように。
- 人口が少ない状況において、施設を動かすより人を動かすことにより集約を図ってはいかがでしょうか。若い人、村へ、お年寄り、町へ、人を動かしてはいかがでしょうか。
- 公共施設に行く場合、巡回バスがあれば良い。(車を運転しない人の為)
- 障害者や老人のいこいの施設に力を入れて欲しい。
- 地域の考え方を〔市全体〕〔北部・南部・中央〕とし、各町という考え方を軽くする。各種会議等は人口よりも地域に分散して実施する。
- 今後、人口は減少し私達の地域も空家になっていく。ここ10年で結果が出る状況にあります。公共施設はグループホームで使用できるように変化できたらと思う。若い人達がいなく高齢者が助け合って暮らして行くようになると思う。不安です。
- 市中心部ばかり拡張していて、市外はますます不便になるばかりです。
- 市の中心地の施設は複合型で大規模な施設が集客にも繋がり、遠方の集落の人にも出かけたくなるようなものも必要と思いますが、田舎の過疎地域では福祉的な施設が不足しないよう望みます。
- 公共施設で学習や趣味を学べる様にして欲しいが、三次市内ばかりに限らず町に於いてもその場が欲しい。
- せっかく緑の多い町だから、それを生かし、周りからきれいにしていけば人々も集まりやすくなると思います。高齢化に向けて吉舎にスーパーを措置して欲しい。お願いします。
- 利用の少ない公共施設が大き過ぎると思います。その予算があれば児童クラブなど古い建物をもっと整備して欲しいと思います。
- 公共施設・新庁舎はこれからの新しい三次市に大変必要と思われませんが、ただし他の公共施設等について、財政は大変厳しい時代を迎えている中、公共施設の財政見直しして頂きたい。
※特に八次馬洗川公園等の建設に伴う財政は、必要性の無い無駄な財政であると市民からの声があります。
- 若者が遊べる施設を増やして欲しい。(ボーリングなど)

- 少子高齢化に於いて、利用率の悪い施設は考えた方が良いのでは。施設利用について、行きたくても交通手段の無い人も多いのでは？
- 本来コミュニティの場所である、利用者に維持管理のボランティア的な作業を参加してもらえば利用率が向上すると思いますが。
- 必要性を十分に考えたうえで具体的なビジョンを持って実行へ移して行って欲しい。予定外れでは困るし、上手く運営して行けることが大切だと思う。個人的には「トレッタ」は必要性を感じない。「ベジタハウス」という庶民的なリーズナブルに地元野菜が買えるお店が継続して欲しかった。観光客にとってもそこが魅力だと思う。
- 天災など災害が発生した時、避難所が、公共施設が必要。地域の避難所が無くてはならない。人口減は若者の都会への流出が多いからだ。三次市に働く職場が少ないのが原因。企業誘致に力を入れるべき。若者が定着出来る魅力ある町作りが必要。三次市は歴史・文化など観光資源が豊富。収入アップは三次市の財源に潤いを持つ。財源対策を講じる必要がある。
- 公共施設を利用する事が少ないし、他の土地より戻ってまだ三次市のことが良く分りませんが、住民のコミュニティの場は必要だと思います。高齢化で孤立する淋しい人が増えるのは悲しいので、小さい場所も残して欲しい。若い人には公園・図書館など、充実させても良いのでは。地域の力を借りても良いのではないですか。市役所だけに頼らないで。空きスペースたくさんあるのだから。
- 三次市以外の人も多く利用できる施設が必要ではないかと…。
- 健康で文化的な生活を送る為に、健康増進施設・文化施設を作り、低価格で利用出来る様にする。（医療費の抑制・文化レベルの向上を図る）
- 合併により人口密度と施設数等に不公平感があると思う。難しいことだと思いますが、高齢者や幼児、弱者に優しい街になれば。
- コミュニティセンターなど 2000 年から通っていますが、和気藹々と楽しく習い事しています。おかげさまで、元気で続けられていると思います。長く続けて行くにはやはり少しの自己負担があっても良いと思います。
- くるるんが廻る所は良いが、それ以外の所では交通手段がなく不便。高齢者が増える中、もう少し行動しやすい環境を整えて欲しい。
- 本市の公共施設については、市民が納得行くような施設を作って欲しい。
- 他市町村と比べ公共施設は充実していると思うが、今後の人口減少が見込まれる上で、予算の使い道は事業誘致また広島市への芸備線高速化を促進し、地価が安いので広島市内へ一時間程度で通勤出来れば、若者の移住も増えるのではと思います。
- 公共施設が市の中心部に少ないので、中心部に移転等を行って欲しい。自家用車が無い人は行きたくても行けないと思います。
- その施設を作ろうとした時と、それが出来た時との景気等の違いがあり、計画を中止する機能が必要。維持・管理の事を考えるべき。
- お金を使う施設ではなく、お金を生み出して行く施設を作って行くべきと考えます。（汚泥発電等）
- 財政の問題はあるが、将来誰もが少しでも安心して暮らせるように、少々の負担増はやむを得ないと思う。
- 公共施設の個別性が分らない。十日市コミュニティセンター、まちづくりセンター、生涯学

- 習センター等、集約してもっと市民のニーズに合ったメニューを取り入れて、広く多様に利用できる場所にして欲しい。利用し易い場所であることは勿論、各地域のコミュニティスペースに、巡回型のフィットネス、体操教室とかをもっと充実して欲しい。街中に住む人しか利用できない施設は、日常的に利用出来ないから無に等しい。箱物より人材を廻して下さい。
- 広大な市では、公共施設の場所で、利用者の居住地から遠近による利便性格差が出来ている。一部の人の公共施設に税金を払うのはおかしい。もっと他に使うべき。
 - 大型施設は市街地に集中しているため、周辺地域からも利用し易いようにアクセス道路の整備が必要。(例えば、道路の拡幅、公共交通機関の増便等々)
 - 図書館はこれからも各町に在り続けて、無料で使い続けられるのが良い。
 - 旧三次市内の新しい建物の見学をさせて頂きましたが、新しい数々の建築物に驚いてしまいました。説明を聞きますと、相当な費用が投じられたとのこと。中央優遇政策に不満さえ覚ええました。
 - 施設場所がすべてバラバラで、出かけるのに正直面倒になります。ある程度、近隣に設け、色々な人達が集まる場所にして欲しい。そこからまた新しい考えに繋がると思う。人の集まる場所にまた新しい考え方も生まれると思うから。
 - 防災をかねた(避難場所)施設であって欲しい。
 - 高齢化になってから、色々建物が増えた気がします。箱物よりもっと大事な物を造って欲しい。高齢化になるもっと前に行政で計画して行けば、あせらずに高齢化対策が出来たはず。若い方や人口の増加は見込めないのですから、もっと以前から住み良い町造りをして行けば良かったのかも知れません。
 - 中央に偏りすぎている。庁舎・市民ホール以外、今後の維持の事考えて建てるべきでした。
 - 少子高齢化が進み、若年層への負担も多くなるのが市の元気がなくなる元で、なるべく財政に見合ったようにするのが良いと思う。
 - 転勤族ですが、子供が小さいので定期健診等でよくお世話になります。こちらはサポートが厚く温かいので安心して過ごせるので、本当に有り難く思っています。何処の役所さんに行っても感じが良くて親切ですごいことです。今後、財政状況が厳しくなることが見込まれるとの事ですが、この素晴らしいサービスが継続されるよう願わずにいられません。そう考えると利用者の負担増も止むを得ないと思えてきました。
 - 公共施設にも色々な目的・役割があると思いますが、そこでは人と物とそこでの出来事、この3つがかかわり合い、色々な「もの」「こと」が生まれると思います。人も活性化し、自然や物も活かされ、出来事が積み重なっていくと思います。その場のひとつが公共施設だと思われれます。ハード面も勿論大切ですが、ソフト面も充実し、利用してよかった、また利用したいと思えるような「場」になれば良いと思います。更には、利用者のアイディアや工夫も積極的に生かされる様になることも大切かと思えます。
 - 市民にとって必要か不必要かの判断を客観的に明確にし、現在有る施設に関しても仕分けが必要である。
 - 厳しい財政の中、公共施設の見直しに賛成である。老人(年金生活者)からの税負担をなるべく少なくし、三次市民でよかったと思われる市を目指してほしい。
 - 高齢者の方が、行ってみたい、利用したいと思える施設、その中に小さな子供さんの遊び場などあったらと思います。とにかく出掛けたくなる施設・イベントがあれば。

- 箱物行政からの脱却。施設（ハード）の充実からソフトの充実化を図り、他都市から人を受け入れられる行政を。
- 将来のことを考えて、早めに対策を行って欲しいと思います。芸術やスポーツを含め、青少年への教育環境が損なわれることの無いよう希望します。
- 思い切った改革が出来ないと改善しないと思う。
- 7月に三次に引っ越してきたばかりで良く分りませんが、施設が古くても利用者の多いものは残すべきだと考えますし、安全面も考えて建替えも必要なのではと思います。
- 年寄りや次世代の子供達の為に我慢しても良いと思う。無駄な事が多過ぎると思う。（辛いところに手が届かなくて良いと思う）
- 若い人達が遊べる施設を増やして欲しい。高齢者の施設も増やしたほうが良いと思う。三次は遊ぶ所が無いし、イベントももっと増やさないと若い人が離れて行くと思う。
- 総花的なバラマキ行政はすべきでない。市の重点政策に沿って、重点的利用効率を考えて進めて下さい。
- 地域より偏りが無いようにして下さい。
- 施設の点在をやめ集中化。
- 建設費をけちるあまり、中途半端な大きさの施設ばかりが増え、利用勝手が悪く集客力が無いように思う。同じ費用をかけるならより良い物を作るべき。無駄な箱物が多い。
- 旧三次市に公共施設が集中し過ぎている。分散させ合併後の周辺町の活性化を図って貰いたい。とりわけ吉舎町は商店がほとんど閉店し、買い物も出来ない状態で、高齢者が危機的状況にある。道の駅等整備されてはどうか。
- スポーツ・レクリエーション・観光産業施設等は利用者も見込めず赤字を出してまで設置運営をして欲しくありませんので、交通等の利便性を考えると三次市中心・周辺に集中するのは仕方ないと思っています。高齢者・障がい者・児童福祉・保健・幼児施設に関してはサービス削減をしてほしく無いと思っています。
- 減少、減少と頭から考えるのがおかしい。楽しい幸せな町でなければ若い人も残らない。人も来ない。
- 合併にともなう整理が行われていない。行政がそれを行う必要性の説明をしきれていない。
- 増えて行く高齢者、減っている若者、だけれども子供達の遊ぶ場所が無くなるのは困ります。幅広い年齢の方々が利用できる施設が増えて欲しいと思います。
- 学校・診療所などは地域に一つは無くしてはならない施設です。人口減ばかり考えず、人口を増すことに努力を望みます。
- 施設の集約化や統廃合に賛成と言っても、交通の不便な所に住んでいる者には必要な施設が遠くて行かないなどで困るのは問題だと思う。広島市内から三次市に引っ越して来たが、自然は豊かなのは良いが、若者が住むには田舎過ぎて、買い物も食べる所も不便だなと感じています。人口が減少しているのだから、もっと若者が住み易いような街にしてほしいです。働く所や大きなショッピングモールとかファミレスとか殆どなくて、若者はどんどん市外へ行きたくなると思う。更新問題も大変だが、人口減少の方が心配だ。問10のような状況になると思うと、ますます将来が不安になります。みよしあそびの王国は素晴らしい。でもファミリーが食事出来るようなお店が三次には少なすぎる。
- 自家用車に乗る事が出来なくなった時点では、公共施設の利用は減少すると考えます。

- 福祉施設の充実をする事。
- 建設してあまり利用がないうちに廃校となってしまうたり、計画性が無いと感じます。
- もう少し何でもかんでも作るのではなく、本当に必要なものだけで良いのではないか。必要なものとは何か考える事（ふるさと納税みたいなのを考えてみたら）
- 誰もが気持ち良く大切に取り扱う場所であって欲しい。田舎でも市内でも住まいに関わりなく、いつでも、気軽に参加、活動、健常者、障害のある方等、幅広い年齢の方々利用し易い環境や利用し易い場として、慣れ親しむ友好的な施設になって欲しい。勿体無いと思われたい施設にして欲しい。
- 面積の広い三次市、集約すれば地域によっては過疎に拍車を掛けるようになるのでは。市の規模に見合うものにする。見栄を張らない。堅実的な物が好ましい。（美術館はやたらに大きく、老人には移動が難しい）
- 市民から見て使い易い。使用し易くなければ意味が無い。税金の無駄遣い。
- どの公共施設でも、送迎のある施設であって欲しい。
- 高齢者の健康維持施設をもっと増やし、健康寿命を延ばす様に努力するべきである。
- 子供達が遊べる施設を増やして欲しいです。
- 各自治体が皆同じ様な公共施設を作り、維持に苦労している。市民ホール（きりり）など本当に必要だったのだろうか？（野球場も）箱物施設よりも、これからは防災関係に重点を置くべきだと思う。
- 三次らしさを全面に出した施設にすれば良い。
- 本当に市民が必要としている公共施設を再検討。子供や若者が利用し易い施設。もっと体育館等利用料金を安くしては？若者定住に向けても、あまり良い面で集える場所が無い。高齢化が進む中で、高齢者が利用し易いのは、近くにあり利用し易いことが一番。
- 近いところにあって欲しい。

◆施設の新規整備について

- 今ある施設で十分。これ以上増やさないで下さい。三次地区にある施設は交通の便が悪い。
- 利用者が行きやすい様（場所・中でのムード等）に、又、新しく作る場合は無駄なお金をかけない建物、施設でよいと思う。
- 新規に作らない（不要・不急なもの）。
- 建物ばかり造っても財政が大変です。
- 地域における葬儀のできる出来る会場（簡易的なもの）希望。
- 出雲のゆうプラザの様な屋内プールがあると、広島にも無いので観光資源になると思います。
- 統廃合で公共施設を減らすことに賛成ですが、武道館の建設は強く望みます。（教育基本法の改正で平成24年度から中学校で武道教育が必修化された。国際社会で活躍する青少年が自国の伝統文化を理解する。）
- 施設はもうこれ以上必要ないと思います。何より魅力ある街で、ずっと住みたい、住んでみたい思えることで、活気のある街にすることが先決な気がします。
- 税金を使って市民に負担がかかるようなことはしないで欲しい。いわゆる「ハコモノ」は作らないように。
- やはり新しい施設も必要だと思えます。老人が元気で増え、若人が減って、それに応じた対

策、気候も変化し、今の時代に合う公共施設へと取り組み、体力作りの器具の公園でも利用のことで、テレビが伝えていた。いろいろな事情も大切だと考える。細かく考えるのに、やはり公のマンションがあってもいいと思う。新しく建ててもいいのではと思う。弁護士さんが家まで来てくれたり（無料）、財産分与きちんと出来る人が居て欲しい。

- もう新しいものは作らないで欲しい。三次市は公共的建物を作り過ぎていると思う。
- 本当に必要な施設なら建築すべきで、民間に委託して維持管理して行くとか…。我々は選ばれた議員の方々が市民の為に誠実な議論をつくしてやって頂けたらと思います。
- 公共施設の統廃合の前に新たな施設の建設をやめる。統廃合で不要になった施設の売却またはリースすることにより、残った施設の維持管理費の足しにするのはどうでしょう。

◆施設の統合・削減について

- 年間利用者の少ないところは廃止する。
- 橋梁のようなものは計画的に整備。地域集会所・グラウンド等は地元へ譲渡。
- 利用が少ないのに維持管理費用のかかりすぎる施設は根本から見直して、利用を増やす内容のものにするか、廃止する方向で考えるべき。将来へつなげを回さないこと。
- 合併時のムダな施設の見直し。
- 安芸高田市、庄原市、三次市が共同で使える施設を設けて管理すべき。
- 市民の財政負担を増加させないために、集約と削減は避けられないと考えます。
- 公共施設を統廃合し、利用者が困らないように公共交通機関を増やして欲しい。
- 利用者が少なくてもどうしても必要な施設もあれば、沢山利用者がいてもこれは…と思う施設もある。公共という意味を良く考えて統廃合なり集約なりしなくては、何のための公共施設か分らなくなる。
- 合併以前はそれぞれの市町村で競っていたと思うが…。合併後の新市として、これからの財政状況や人口規模を考えると、規模縮小等については、当然の課題だと考えます。
- 問8で示した施設は躊躇なく廃止・売却等し、貴重な財源を投入しないで頂きたい。
- 統廃合後の施設の有効活用。重複施設が多い。
- 公共施設の建替えについては利用者によります。維持管理に必要な経費については自ずと統廃合によると思います。今ある施設を三次市民がどうすれば喜んで活用出来るか、フル活用しようと思えば参加者に魅力ある宣伝と交通手段を考えてあげなければ運転してどこでも行ける人ばかりではありません。公共施設に携わっておられる職員の方々は、一番状況が分っておられると思います。自分の為だけでなく、今ある施設を住んでいる地域の人達がどうすれば喜んで活用されるか、これからは見直さなければいけないと思います。利用者の負担は少し増えても多くはかからない方向でお願いしたいと思います。
- 統廃合による合理化は最終手段であると思う。
- 中央病院への費用は減らさず維持して欲しい。あまり統廃合し過ぎても、遠くなっては利用するのに不便になる。
- 利用者の少ない施設の維持管理、人件費を考えると減らして良いと思う。
- 超コンパクトシティに向かって施設統合とすべき。
- 統廃合でどうしても支障が出る場合は、タクシー等の利用で近くの施設に送り迎えした方が安くつくと思う。

- 自分自身が高齢者であり、移動の事、生活費の事等を考えると近くのコミュニティ利用が多くなると思います。健康的な生活を送る為にも交流は必要だと思いますので、身近なコミュニティセンターは維持して頂きたいものです。
- 必要最低にすべきです。
- 市町村合併直前に建てられた公共施設が大きな課題になっていると思います。利用料を検討し適切な数に減少させ、高齢者や地域に根ざす場所としてコミュニティセンターを有効活用されるのが良いと思います。
- 高齢者が増える。そのケア（精神的・肉体的）のための施設は必要。子供の為の施設はもっと必要。
- 利用者の少ない施設は廃止する。
- 今後建て替え等については10年ぐらい先を考えて行く。必要と老人が多くなり若い人が少ないのが分る為、出来るだけ建物の減らして行って欲しいです。
- 新しい施設を多く建てることは、後に維持費がかかるので財政に見合った数にすること。
- 同じ町内にある施設は建て替える際に同じ建物内に整備する。経費を削減する。
- 必要に応じて減らすことは大事だと思うが、減らし過ぎて利用するのに困るようでは施設の意味が無いような…。
- 人口のわりに多過ぎ。費用が分散しすぎて、個々の施設が充実しない。減らして集約した方が良いと思う。活気出るのでは？ただし、そこに集まる手段は確保すべき。
- 中途半端な建物が多過ぎる。良い物を少なく集客力のあるものを建てて欲しい。
- 人口の減少は今後も確かな事なので、施設がここに必要かじっくり検討して統合して支障の無いものは削減しないと将来市民が負担する事になると思います。
- 利用度の少ない施設は、一部の方のみの使用施設は、見直しをした方が良いのではないのでしょうか？
- 古い施設、取り壊し及び民間へ売却。
- 今現在公共施設の利用が余り出来ない状況なので（時間が無い）内容等余り良く分かりませんが、必要以上無くても良いと思います。
- 今ある公共施設は広範囲にあるので集約して欲しい。
- 統合も建替えも場合によっては必要かも知れない。が、この考えが先行し過ぎると弱い所へしわ寄せが行くだろう。住民の幸せを願うなら、総合的な観点からのビジョン計画必要なのでは？
- 市庁舎が改築してそこに集約統合した空室の処分はどのような風にされるのか。
- 公共施設は災害時などの拠点となるもの。統廃合に当たっては被災確率の低い条件も考慮すべきと思う。縦割りで専門性も大切であるが、全体的な視点がより大切となる。
- 美術館は集約すれば良い。市民参加型の文化施設として転用すれば良い。
- いわゆる「箱物」の施設は極力減らすべき。
- 各地域にあるコミュニティセンター、酒屋で言えば酒屋地区コミュニティセンターは私達が活動する拠点施設であるので、予算を削減しないで下さい。
- 旧市町村に存続している施設、例えば美術館等集約複合化、または統廃合すべき。
- 地域の公共施設は、地域をギリギリ存続させる為の希望（よりどころ）であったりします。効率だけでの廃止は効率以上のマイナスになる可能性もあると考えます。

- 美術館はひとつに統合し充実させる。良い作品を子供には無料か低価格で見せる。「きりり」でも良い音楽を聴かせてやって欲しい。
- 公共施設の集約統合は止むを得ないと思いますが、財源維持を主体とするのではなく、施設の再生を利用者の目線や何に魅力を感じるかの意見をふまえて進めて欲しい。合理化しても人口を増やす意気込み行政が問われています。高齢者の意見に惑わされることなく、20代、30代、40代の意見を優先することです。今や高齢者の経験談は何の参考にもなりません。（67歳の私の意見です）
- 自分は利用しないが、必要な人がいると思うので、必要な施設とそうでない施設を分けるべき。
- 一部の人しか利用していない施設は必要ない。
- 利用の少ないものから減らして行く。
- 集約・統合は簡単で安易。維持に知恵を絞るべき。
- 小学校等については統合する必要があるのでは。
- 本当に必要な施設なのか見極めることが大事。必要でない施設を維持し他の公共サービスを削減するなどは論外。
- 不要施設は売却するか廃棄して下さい。上物に税を使わないで欲しい。
- 統廃合による経費節減を行う。
- 市民が利用したい施設が少人数であっても、その人達には必要な施設なので、統廃合はなるべく避けたいと思う。しかし、景気が上向かない事には収入も上がらず、利用料金を払う気持ちも薄れて利用回数が減るのも事実である。
- 公共施設の統廃合は、収入が減少してくればやむを得ないと思う。ただし、市内中心部のみが利便性が高くなる様な政策は感心しない。公平性のある政策を望む。そのためには、地域の方の意見をその都度聞き、進めていただきたい。
- 施設を集約し、利用日程を分散させるなど工夫し、混雑を避け、まちづくりセンター等、常時利用しない施設は廃止すべき。稼働率を考えて下さい。

◆施設の利活用について

- 利用料の増収の為に、公共施設をもっと活用しやすくする工夫も必要では。魅力的なイベントを増やす、誘致することも。
- 今後高齢者の人口の割合が増えてくるので、空スペースを高齢者向けの運動施設にするといった活用も考えて欲しい。
- 収益的施設は、施設の管理運営を効率的に行うと共に、収入を増やす努力をして、収入で維持管理費を賄うべき。（直売所、加工所、レジャー施設、道の駅等）
- 施設利用と共に利益を生むアイデアにより収益を上げる。バザー・チャリティー・広告投入等。
- 現在ある公共施設はなんとか維持して欲しい。
- 人との関わりが希薄になっている昨今、公共施設が誰もが使いやすく人が交流する場所は必要であると思います。空いている所を色んな活動をしている団体に開放（貸す？）するのも良いのではないのでしょうか？
- 福祉関係の施設は民間活用を願えたらどうですか。

- 各地区のコミュニティセンターを建替える時小学校の空教室を利用は出来ないか。行政の縦割りを無くし、もっと横の連携を取られるようにしたらどうですか。
- 本市の公共施設が管理出来るように活用するようにして頂きたい。
- 公共施設から収益を上げること考える。(料金アップやサービスを下げる事無く、施設の稼働率アップの取組みやコスト削減などで収益を上げる)この収益で施設の更新維持管理の運営を行って行く。
- ホールを備えた十日市コミュニティセンターなど作らずに、図書館となりの建物を利用するなど、長期的に考えた計画を立てて欲しい。無駄が多過ぎる。
- 施設の規模が大きいものは、民間企業の力を借りて運営する。しかし、その場合新しい違った利用方法や利用を考えてみたらどうでしょうか。(例・図書館+喫茶店)高齢者が集まるような施設を考える。既存の施設を新しいアイデアで利用方法を大胆に変える。
- 各支所の空室の一般開放。
- 使われていない建物や土地を有効活用して、交通の便が良い場所に公共施設を作る。高齢者でも行ける様に、公共施設まで行くバスなどがあれば良いと思う。
- 支所や学校の空スペースを有効利用する。不要な公共施設は民間へ売却する。
- 地域によっては施設があまり活用されておらず、空き部屋が目立つ所もあると思うので、住民にもっと利用してもらったらどうかと思う。また、良いサービスを受けるには住民にも負担がかかっても仕方ないと思う。(公助だけでなく自助がないと地域は成り立たないのでは…)
- 市民ホールは皆さんのホール。もっとしっかり多くの方が気軽に入れるように使用料金・入場料金を検討していただきたい。きりりホールが毎日運営されるように年間計画を。きりりに喫茶店のようなものが出来ると人が入りやすい。図書館を一緒になど。
- きりりの利用について、まだ一度もイベントに参加していない。気軽に利用できるイベントを企画して欲しい。(例えば神楽共演大会など)
- 利用料金を安くして欲しい。希望する時間に利用できず使用したくても出来ません。
- 公共施設で統廃合して使用しなくなった施設を、利用料金を取らないで利用出来る様に地域に開放して欲しい。
- その地域に合った使い方をして欲しい。市内中心部に集中させると、旧双三地区は不便だ。特に障がい者施設が少な過ぎ、三和町から通える施設がほとんど無い。旧役場や統合され空いている学校などのスペースをうまく使いながら弱者が生活しやすい面を考えていただきたい。
- 美術館にもっと有名な外国の画家の作品を持って来て欲しい。お金がかかると思うが、コマールすることで県全域の人にも来て貰えるのでは。また高校等に働きかけて美術鑑賞等も。
- 公共施設の維持とかよりも施設同士が連携して何とかありませんか？新しい物を建てるより、空家とか利用できませんか？古き良き街並みっていいですよね？
- 市内に公共施設が集中している。各町に特色ある公共施設があれば、平等に利用できる。新しい物を作らずに、今ある施設に手を加えて、使いやすくすること。
- 新しい建物はせずに現在あるものを活用して行く。
- みよしあそびの王国のように多くの方が訪れる公共施設も素晴らしいと思うけれど、今ある

もので、利用者を増やす工夫をしてはどうでしょうか。

- 空スペースの有効活用をいろいろ考えて行けたら良い。

◆施設の維持管理について

- 旧文化会館，草ぼうぼう，ごみだらけ，どうにかして欲しい。現在使用中の施設の将来を見るようで寂しい。
- 生活に関連する施設は大切に維持する。地域の維持やコミュニティの維持は大切。単に効率性だけでは公共サービスの低下に繋がる。
- 経費節減の見直し。きりり等節電すべき。
- 人口に見合った経費の使い方。利用率に見合った管理費の使い方。
- 公共施設の中でも橋や一部の道路は，舗装や拡幅，信号設置などを要する所があるが，他の箱物についてはランニングコストをどんどん切詰めていくべき。市と県の二重行政も無駄が多い。このような調査はもっと早く実施するべきだった。
- 民間業者に委託してはどうか。現在のやり方では，市民の負担が増すだけです。
- 今後，新設・改修を行う施設についてはランニングコストを明かにし整備されたい。
- 経費削減しかない。
- みよし運動公園の管理は，陸上競技場等，芝の管理は酷く，今回の工事での失敗以前に，日々の管理も出来ていないと思います（散水等）。庄原，東城の競技場を見習って下さい。夏休みは県外の高校サッカー等使用されていましたが，今年はダメですね。それによって，市内宿泊施設等のマイナスも多いと思います。早急に復旧して欲しいです。
- 運営管理が難しい施設（維持管理，費用面）については民間業者に委託するなど，公共施設の縮小も検討されてみては。
- 美術館，テニスコートの運営・管理等の経費削減を希望します。市民の声として評判が今一つです。
- 常時使っているぐらいの人が集まる場所にすると共に，みんなで管理運営（ボランティアも含み）し，みんなの財産としてシェアする感じにして行く。
- ほとんど利用していないのに昔のまま残してあってお金が勿体無い感じがします。たくさんの管理経費，こんなに人がいるの？と無駄をたくさん感じます。民間企業のノウハウを貰うなど，経営努力も必要だと思います。人口構造が変化しているのだから「必要なもの」も変わってくるし，何がいるのか，何を目指すのか，今後について考えるには主観の無い客観的な視点として専門家（大学等）のアドバイスもいると思います。民間と比べて様々な面で甘いです。
- 観光施設や産業施設の収入は，自治体の方に入っているのでしょうか？（施設維持は自治体がもち，利益は営業者ではおかしいと思うのですが）公共施設と言っても，営利目的としている施設は，収入の方から維持管理をしていくことが必要では。
- 市で維持できなくなれば，一般企業に任せても良いと思います。
- 三次市は公共施設がわりと整っていて，住み易い所だと思います。地域の集会所等のリフォームの補助もしっかりして欲しいと思います。

◆施設の情報・PRについて

- 公共施設がどこに何があるのか知らないで、どこで何が出来るか周知してはどうかと思う。
- 美術館利用料で赤字との事。三次市民が多く足を運ぶ為、価格を少し安くとか、又、オープン（特別展）の時などお客様に無料で図録配布など、見直す事も必要と思います。（価格2,500～3,000×人数）かなりの予算と思われませんか。是非一考を。
- 公共施設でこんな事をしていますと、もっとアピールして下さい。
- いないパンフレットが多い。地域の小さな公園が少ない。歩いて行ける場所にあると良いと思います。お願いします。
- たくさんの施設が次々建てられるが、それだけ必要なのか？どこに何の施設があり、利用する為に時間・内容を知らせて欲しい。
- 公共施設の各利用内容についてのアピールが少ないと思います。また、利用に対して市民を優先するもの、三次市以外の方を優先することで利用数を増やすなど、施設の利用拡大に繋がる方法があるような気がします。
- どんな公共施設で、どんな内容の活動・イベントが行われているのかを、市民への広報・PRも必要ではないかと思いました。提示されている施設への財政負担がどのくらいあるのかが明示されていないと、計画的な公共施設の統廃合の判断材料とならない。

◆その他

- 私は甲奴温泉をよく利用しています。シャワーが使えたら。蛇口が低すぎて腰が痛いです。安いのは嬉しいです。
- 三次駅を新改築したのに、なぜ駅のホームは変わらず、電子化にしなかったのですか。くるるんを三次中央病院まで行くことにより、高齢者の利用が増えるのでは？くるるんの方が使いやすいと思います。
- 陸上競技場や道の駅ゆめランド布野にはよく犬の散歩に行くのですが、とてもキレイにされていて、気持ちいいです。いつもありがとうございます。
- 箱物ばかりで、利用価値がともなっていない。
- 今後は機会を見て幅広く利用して行きたいし、身近なものとしてPRしていただきたい。最近グランドゴルフを始めましたが、親水公園のゴルフ場は気軽に個人でも利用出来て、管理も良く素晴らしい施設だと思う。みよしあそびの王国（ワイナリーのそばの施設でしょうか？）は、前から思っていました。遊具が増えて小さい孫と一緒に楽しい時間を過ごさせて貰っています。
- きりりや駅前の建物内で、どんなことが出来るのかわからない。カルチャーセンターや運動公園にもっと屋内のフットサルコートがあれば良い。
- どうしても人口の多いところに集中しており、少ない所に住んでいる人は、交通の便とかでも不利であり、税金は同じではあわない。
- 公共施設等は、市民が本当に必要とし利用しないと成り立たないと思うので、このアンケートは方向性に向けての重大なものとなると思います。
- 無駄なところに大きな建物を作り過ぎている。
- 水泳プールは布野が歩行しやすい深さです。歩行専用の深さのプールを作って欲しい。カルチャーセンターのプールは利用しにくい。中央病院で受診して、運動するように言われて、病院内にもリハビリの為だけではなく利用できる施設を作って欲しい。教育入院しても使え

る施設が院内にありません。

- 新しいバスセンターは意味が無い。新しい所で乗る人はいない。
- 建て替えもよいが文化会館の事はどうなっているのでしょうか。老人が多くなってくるので、集える施設を作って欲しいものです。
- 公共施設と共に市議も少なくして、とにかくスリムにすること。
- みよし運動公園は地元の方の利用が少なく、他県の方がインターネットなどを見て利用料・駐車場料が要らない為か利用者が多いことにビックリしています。
- 古い施設は冷暖の調整が出来ないので改善して欲しい。
- 私も年のせいか持病を持っています。今は何ヶ月に一度病院に通っています。時に入院時リハビリをしようと思ったのですが、下の方までおりなければいけません。どうか、上の方にできないものか？
- 三次市民ホールに小ホールがあればと思います。あれだけの施設だけドステージ付の施設が無いので残念。自動販売機もあれば便利です。
- 建物ばかり新しくなり住民にメリットがある気が全くしません。何かの形で還元されていますか？必要がある人、興味がある人だけにメリットがないですか？
- 現在仕事を持っているので、離れたら図書館・美術館等、しっかり利用させていただきたい。
- 居住地域からは市役所を利用するのもとても不便です。必要不可欠な施設なのに利用するのに負担が多いです。
- 各施設職員の態度が悪い。対応も機械的で応用力が無い。
- 三次市庁舎が新しく完成しましたが、愛着が湧きません。狭いところに建ちとても不便です。このような公共施設の建設等はないようにして欲しいです。
- 箱物を作り過ぎ。市政だよりにアンケート返信が付いていれば市民の声も聞けるのではないですか？
- 最近建てられた施設、又、今計画中の物、無計画で「むだ」な物ばかりの様気がする。これじゃダメだろ、三次市。
- 僕は卓球をするので布野中、十日市中、三次中は見てきましたが、広島市内の小・中学校に比べて屋根に空調が無い三次市内の学校には、熱中症になりやすいのでは？あとカギだけでなく防犯装置の付いたシステムをしてくれてみては？こういうシステムに三次市は税金を使うべきです。
- 中学校卒業したら専門に勉強出来る学校が出来たら良いと思います。公立病院の待ち時間が短く成ったら良いと思います。
- 目的をはっきりと定め、市民の為将来役立つ事を本気で考える事。最近出来た「きりり」、市庁舎、駅周辺、カヌー公園（温泉施設）、全ての建物の設計が不十分である。また、市出資100%の会社に管理委託をするのはいかがなものか。
- 江の川カヌー宿泊施設必要ない。老人施設これ以上多くしない方が良いと思う。税金の無駄遣いはやめて欲しい。
- 利用したくても家庭の事情もあると思います。出られる時はいつでも利用させて頂きたいのです。今からの人は体力のある限り活動し頑張っていけると良いと思います。
- 国の補助金等、目的以外に流用しない。学校の耐震は如何にお考えですか。
- 市役所やきりりなど、三次は頑張っているなと思う。でも図書館の職員の対応の悪さはなん

とかなりませんか？

- コミュニティセンターは私達にとって身近でとても有り難い施設で、あると感謝していますが、十日市にあっては駐車場の料金化のところで使い難くなったと思っています。
- とても綺麗で充実しています。特に図書館はとても良いと思います。…きりり見た目は良いのですが、全体的にお金かけ過ぎだと思いました。
- 市民ホールへ初めて行ったが交通便利が悪く、駐車場から出るのも大変時間がかかり、ホールの中では自販機もなく不便。階段も急でとても市民の事を考えて作られたとは思えなかった。市長反省を。健常者ばかりでは無い。
- 現在はとても便利良く使用させて頂いているので感謝しております。
- 市町村合併したため、赤字町村の不要の公共施設等を引き受けたため、維持管理の負担が多くなった。市町村合併しなかったら良かったのでは。
- 最も重要と思いますのは、環境クリーンセンターと思います。車が列をなして県道？に列をして、待機している様な車ですから。
- 耐震問題等の関係で建て替えを余儀なく行っているようですが、一般家庭・一般マンションだったら果たしてすぐ簡単に建て替えますか？まずは出来る事を優先すべきでは…。追伸：三次市は郊外の草刈りや掃除、民生などに良くお金をかけられていると感心します。他県の地方自治体より手厚くされていると思います。
- このアンケートをする事の意味が分かりません。これも税金。会社へお願いした方が良いのでは？お金をかけずに…と考えてみて下さい。これこそ無駄ですよ。
- 十日市在住に付き、まちづくりセンター・きんさいセンター・交通センター（観光協会）2F、福祉センター、学習センター、センター多過ぎ。何のセンター（中心）？
- 忙しいのか対応が雑な時や感じの悪い時があると、出来れば二度と行きたくないと思ってしまふ。リピーターを増やす為にも人の接客レベルを上げて行く必要があるように思う。料金の値上げをするなら、それに合った対応も必要。空きスペースや空き時間への利用も考え無駄の無いようにして頂きたい。
- 市民ホールに自動販売機が無いので、暑いのに熱中症になりそうでした。薬を飲むのにトイレの水しか無いのは困る。三次市の施設で新しいのになぜですか。利用者の身になって考えてください。
- コミュニティセンターの充実（健康器具・図書の充実等）
- 生涯学習センターとコミュニティセンター（きんさいホール）の違いもわからず、そんなに利用されていない様に思います。（この2つのセンターでの講演とかは行った事が無い）新しい市民ホールきりりが有れば良いと思います。もっと、きりりの小ホールを活用すべきです。ただ駐車場があまりにも少ない。きりりの職員も雑。サービスとは何かもっと勉強すべきです。
- 各施設の職員が必要以上多いと感じる。人件費がかかりすぎ。役所教育関係者の天下りが多いような気がする。もっと一般人の職員を増やす様に。
- 防音をしっかりして欲しい。三次小学校の横に住み、夜間の騒音に悩んでいます。「しあわせを実感しながら住み続けたいまち」の実現にご尽力ください。毎夜騒音に苦しむ事無く、静かにぐっすり眠りたいです。
- 公共施設に金を掛け過ぎた。減税が必要。

- きりりは玄関（入り口）まで行くのに駐輪場から遠い。全ての人がみな健康では無いのだから、設置する場所を考慮すべきでは？せっかく新しくできたのに、考え不足だと思う。
- 税込減、人口減は既に 20~30 年前に分った話です。市職員一人当たりの市民数等人件費削減や公共施設、箱物が不要。予算を引っ張って来る役人が偉いといった公務員体質も含め考えが甘いのでは無いか。水道管を含めた社会インフラの改修もあるのに長期的視点から考えるべき。
- 高齢者にとって公共施設への交通手段が問題となっている。大規模でなくても近場が良い。このアンケートは統廃合するための裏付けにするような内容になっている。統廃合の反対意見が出た時の防御としか思えない。統廃合へ誘導している内容だ。
- 公共施設は駐車場の広い場所にして欲しい。きりりは狭いです。
- 庁舎・集会・文化施設等の職員の人員配置において、業務内容の割に多いように感じます。レクリエーション・観光施設の必要性は理解できるが、より経営努力が必要と思います。
- 全ての施設を訪れての感想・意見ではありませんが、なかには十分に活用されていない施設等もあります。職員の方との住民に対する対応の仕方が以前より良くなってきていると思います。しかし、それぞれの施設・課等で対応の仕方に差はありますが、住民のニーズに応える努力をそれぞれの担当課において研修もしながら確かな取組みをして欲しいと思います。
- 観光の充実の為に民間の人のアイデアを公募し、運営に責任を持たせる。
- 民間人は給料2分の1減、ボーナス全部カットになったままです。公共の方の給料の大幅カットがあってもいいのでは。赤字財政なら誰でも出来ると思うので頑張りを期待します。
- 私は今も仕事に追われ時間が無かったり、子供達、孫達と離れている為、これから孫達と有効活用させて頂きます。ごくろう様です。
- 「三次盆地」そのままのあり方考え方、公共施設も中途半端で使い方も下手。値上げすると利用度も低くなるよ。
- 格式ばった形・利用制度にすると利用しにくくなる。
- 市民の税金で施設を建て、維持し、従業員を雇っているのだから、もっと責任を持って無駄の無いようにして貰いたいですし、天下りも良くないですね
- 建物の設計段階で不備が多過ぎる。安価の入札のみに拘ると良い建物は出来ない。野球場も良い例だ。
- きりりが一番私が利用するのが少なくなった公共施設の一つです。趣味の問題もありますが、利用料金が高過ぎるので（私にとって）見たい・聴きたいと思っても行けない。余裕のある生活だけで利用する施設ではないが、文化会館はよく利用していました。
- 私は車に乗りませんので行きたくても行けない区域がとても多いです。主婦でありながら和牛を飼っているので出かけることがとても難しいので、このアンケートもこの答えになってしまいました。
- 生産年齢人口の減少は 30 年以上前から予測されていたこと、にもかかわらず市長をはじめ、公共施設の建設に携わった人々が、市民ではなく、自分の都合で次々と建設して行った事は誠に遺憾に思う。
- 美術館にかかる費用が多いと聞きます（維持管理）。ワイナリーなどの観光客もあってとは思いますが、黒字になっているのでしょうか。
- 高い税金を支払っているのに、利用料金の値上げで負担増になるのはおかしいと思う。

- 金はまわし方だと思うので、本当に必要な金を出す所かどうか、もっと検討すべき。
- 市外から人に来て貰う為に、大型ショッピングモールやリラクゼーション施設の誘致に力を入れるべきだと思う。音楽イベント等も積極的に行って行くなど、娯楽施設が少ないのも若者が出て行く原因だと思う。
- 莫大な箱物を造ってしまったツケが、市民にしわ寄せがきている。市長、市議、市職員の給料をしっかりカットして、少しは穴埋めして下さい。
- 新庁舎の場所が使いにくい。引っ越して来てすぐ分かりませんでした。保健センターや図書館など、半端な距離があり、歩道も狭く、歩いて移動しづらいので車での移動が煩わしい。庁舎も新ホールきりりも緑化されておらず、工事中の駅周辺も緑がなく、街中が貧しい印象です。せせこましく余裕の無い印象を町並みから受けます。一見無駄に見えるでしょうが、緑化スペースが無さ過ぎるのは貧相です。夏もより暑くなり、よくありません。講談も日陰が少ないですね。美術館や公園やトレッタやワイナリーなど、折角近いので楽しく歩ける道造りなどして欲しいです。横断歩道などの交差点には危ないと思うところもありますが…。
- 公共施設の大半はマニアックな人々の利用に供されているのでは？図書館などは別にして、一部の者のみが利益を受けるのも少なく無いと思う。市の財政に見合ったものにして欲しいもの。
- 正直なところ、暗いイメージがあるような気がします。明るく楽しい雰囲気を作って下さい。飲み物とか、軽い食事など。少し入り難い固い雰囲気があるように感じました。
- 公共施設に魅力が無くて、新しい市役所も少し分かり難い。十日市コミュニティの駐車場も有料になったので利用したくない。
- 財政状況に合ったものにして下さい。また、施設の外観など三次らしい美しいものが望まれます。中に入って見上げた美術品（ペペラホールのレリーフも）心が穏やかになるものを飾って欲しいです。（若い子供も見ますし…）
- 三次市民ホールについて、せっかく立派な施設が出来たが、使い便利が良くない。もう少し利用者の声を聞けなかったのか。
- 十日市のコミュニティセンターの車を停めるので、お金を払ってまでは利用したくない人が増えて、利用しなくなる。何故そこだけお金を払うようにしてあるのですか？